Pioneer sound.vision.soul

DVD/MD ミニコンポーネントシステム

X-SV5DV-S
X-SV5DV-K

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

MiniDisc

MDLP

お客様登録のご案内

http://www3.pioneer.co.jp/members/

お買い上げいただきました製品についての**「お客様登録」**をお願いいたします。
ご登録いただきますと、プレゼントや懸賞商品が当たるキャンペーン/イベント情報や各種製品情報などのご案内をさせていただきます。
また、ご登録いただきますとIDが発行され、お役に立つ情報満載のお客様専用ページにアクセスすることができます。
ご登録は上記URLにアクセスしてご利用ください。

新規登録されたお客様には、毎月プレゼントを抽選にて差し上げております。詳しくは、上記URLにアクセスしてください。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告[異常時の処置]

プラグを抜く

- **万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。**

プラグを抜く

- **万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

プラグを抜く

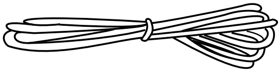
- **万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。**

付属品を確認しましょう

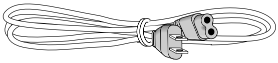
- リモコン × 1



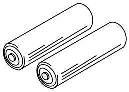
- FM 簡易アンテナ × 1



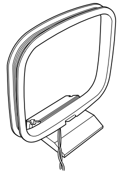
- 電源コード × 1



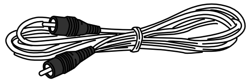
- 単 3 形乾電池 × 2
  （AA/R6P）



- AM ループアンテナ × 1
  （図は組み立てた状態です。）



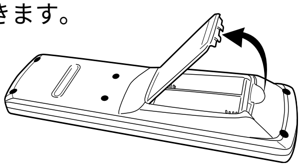
- ビデオコード × 1



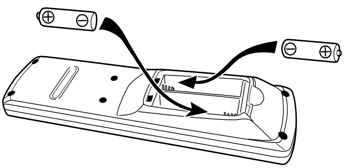
- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- 安全上のご注意

リモコンに電池を入れましょう

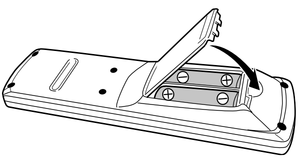
1. 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開きます。



2. ケース内に表記されている極性⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れます。



3. 裏フタを矢印の方向に閉めます。



注 意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。（電池に記載されている注意事項もよく見てください。）

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。

◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

◆ 長い間（1 か月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。

◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

もくじ

はじめに

基本操作

ディスクを使う(DVD/ ビデオ CD / CD/ MP3)

ＭＤを使う

ＭＤを再生する

ＭＤに録音する

ＭＤを編集する

ＭＤのグループ機能を使う

音質設定をする

タイマーを使う

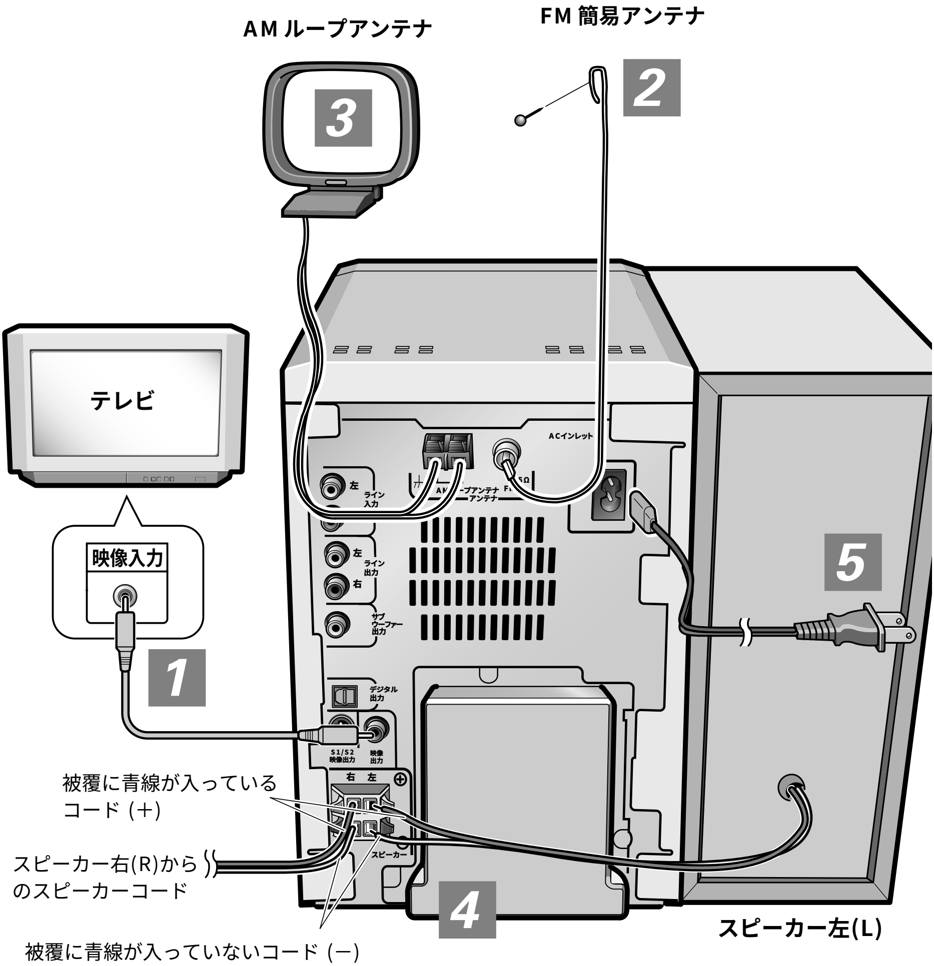
各種の設定をする

外部機器を使う

その他

本機の接続をしましょう

- アンテナは必ず接続してください。アンテナを接続しないと FM/AM 放送が受信できません。
- 接続を行なう場合、あるいは変更を行なう場合には、必ず電源コードを抜いてください。また電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。
- 本機に外部機器を接続する場合は、112 ～ 113 ページを参照してください。

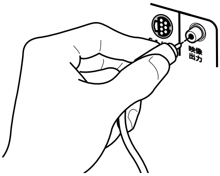


注意：

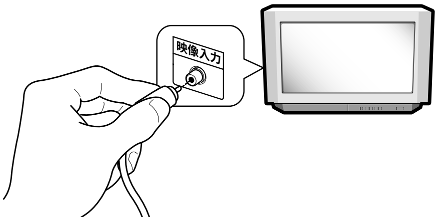
- 本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 本スピーカー以外のスピーカーを本システムに接続する場合は、インピーダンスが 4Ω ～ 16Ω のものをご使用ください。

1 テレビと接続します

付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。

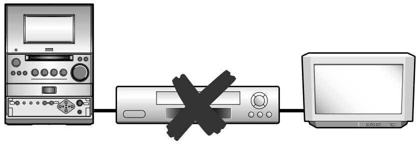


次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。



注 意

◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

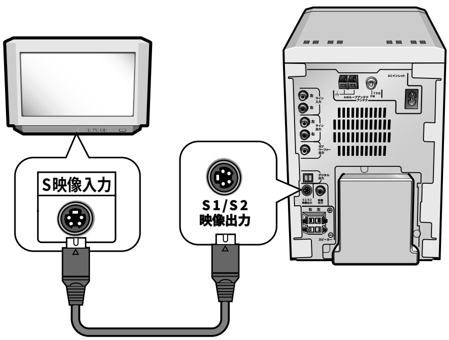


本機　ビデオ　テレビ

◆ S 映像入力端子付きテレビに接続した場合、映像が横方向に引き伸ばしたように見えるときは、取扱説明書の100ページを参照して、S1 に設定してください。

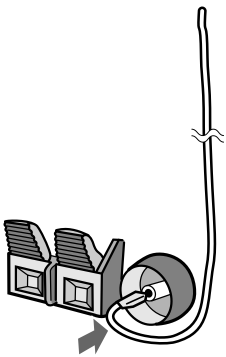
S 映像入力端子付きテレビの場合

S 映像入力端子を持っているテレビの場合、S1/S2 端子を使うと、付属の映像ケーブルを使った映像入力端子への接続より、鮮明で高品位な映像を楽しむことができます。
この場合は、下図のように市販の S 映像ケーブルで接続します。



2 FM簡易アンテナを接続します

FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んで使用します。
また FM 簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張っておきます。

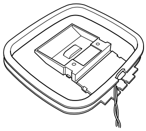


FM 簡易アンテナ

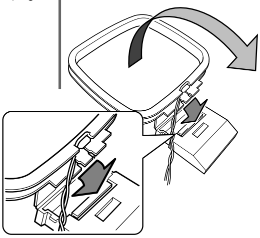
3 AMループアンテナを組み立ててから接続します

組み立て

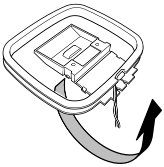
① コードがねじれて巻かれている部分までをほどきます。



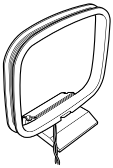
③ 突起部を溝にはめ込みます。



② 台を外側に出します。

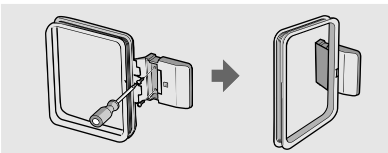


④ 組み立ては完成です。



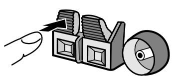
壁に取り付けるには....

ネジや押しピンなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

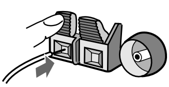


接 続

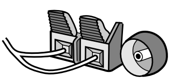
① 指で端子のレバーを上側に押します。



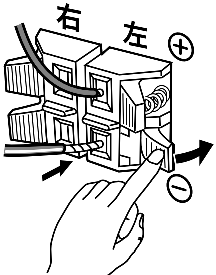
② コードの先端を端子に挿入し、端子のレバーを押さえていた指を離します。



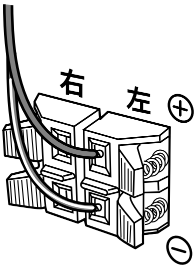
③ もう一方のコードも同様に、端子に接続します。



4 スピーカーコードを接続します



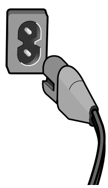
端子のレバーを押しながら、スピーカーコードを差し込みます。
レバーは指を離すと元にもどります。
被覆に青線が入っているコードを赤い端子に差し込みます。
被覆に線の入っていないコードは、黒い端子に差し込みます。

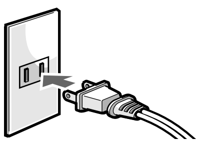


軽くひっぱって、抜けないことを確認します。

5 電源コードを本体と壁のコンセントへ差し込みます

ACインレット





電源コードを本体のACインレットに差し込みます。

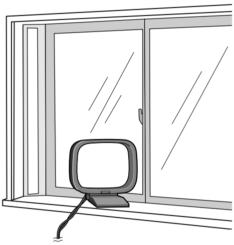
電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだ時はデモモードになります。詳しくは19ページをご覧ください。

アンテナ接続について

アンテナ端子のアースマーク(⏚)はアンテナを接続した場合の雑音低減をはかるためのものです。安全アースではありません。

AM ループアンテナ：

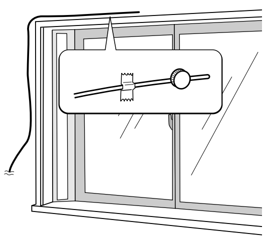
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機から離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコン、テレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM 放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。



- できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM 簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないでピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼付けます。

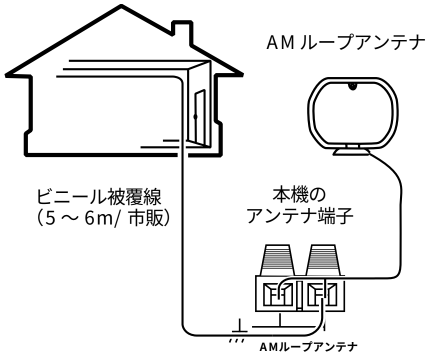


- 付属の FM 簡易アンテナは、FM 放送を手軽に受信するためのものです。よりよい受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないとき

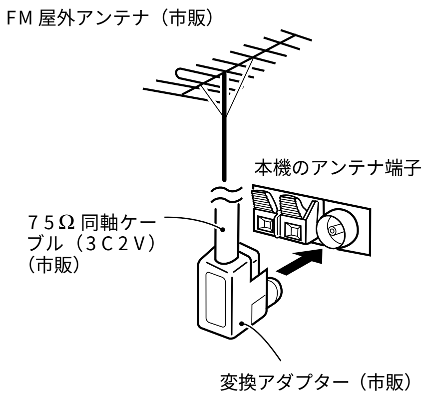
AM 外部アンテナをつなぐ

- AM 外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。



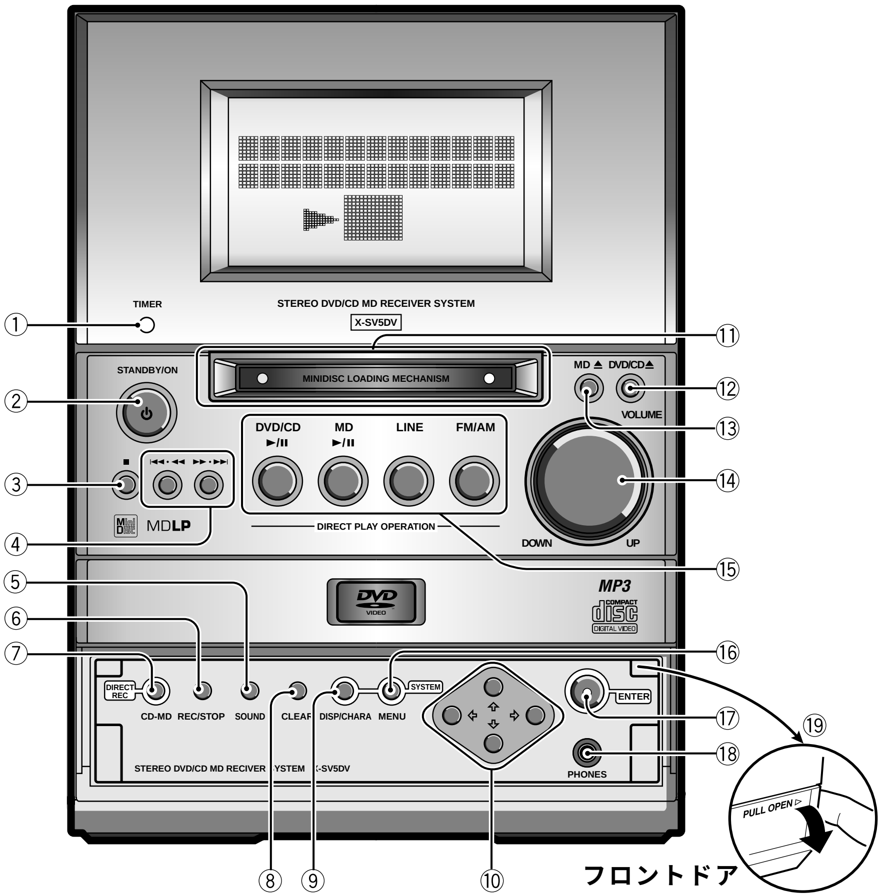
FM 屋外アンテナをつなぐ

- 市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。



各部のなまえとはたらきを覚えましょう

本体部

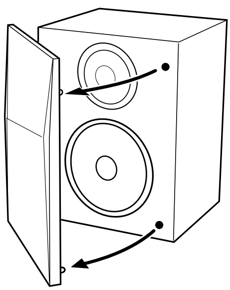


フロントドアの開けかた

手前に引く

スピーカーのグリルの着脱

このスピーカーシステムは前面のグリルを取りはずすことができます。グリルを着脱するときは、次のように行ってください。



1. はずすときはグリルの右側（または下側）を手前に軽く引っぱって、グリルの片側をはずします。
2. 同じように、グリル左側（または上側）を手前に引っぱると、グリルは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、グリル上側および下側にあるキャッチ部を本体の突起部に合わせて、押し込みます。

- スピーカーを保護するため、グリルははずしたままにしないでください。

① **タイマーインジケーター**
目覚ましタイマー/タイマー録音が設定されていると点灯します。

② **電源ボタン**
押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部のバックライトが消灯します。

リモコン受光部
- リモコン受光部は、電源ボタンの裏側にあります。リモコン前部を向けて操作してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。

③ **■ボタン**
停止するときに使用します。

④ **|◀◀・◀◀　▶▶・▶▶| ボタン**
タイトル / チャプター / トラックを早送り、早戻し、または頭出しをします。

⑤ **サウンドボタン（90-91ページ）**

⑥ **REC/STOPボタン（67, 95ページ）**
録音を開始したり停止したりします。

⑦ **CD-MDダイレクト録音ボタン（36, 66ページ）**
CD を簡単に MD へ録音します。

⑧ **クリアボタン（50, 57, 73ページ）**
取り消すときに使用します。

⑨ **システム表示/文字ボタン（23, 73, 86ページ）**
MDとラジオの表示の切りかえ、文字入力時の文字の種類を切りかえます。

⑩ ⇧ ⇩⇦ ⇨
項目の選択や変更、または DVD などのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動します。
また、ラジオのステーションの選択や放送局のチューニングにも使用します。

⑪ **MD挿入部**

⑫ **DVD/CD ⏏ボタン**

⑬ **MD取り出し ⏏ ボタン**

⑭ **音量つまみ（24ページ）**

⑮ **ダイレクト再生ボタン**
以下の4つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスクがセットされている場合は、再生を開始します。

DVD/CDボタン
DVD や CD、MP3、ビデオ CD を再生したり、一時停止します。

MDボタン
MD を再生したり、一時停止します。

LINEボタン
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。

FM/AMボタン
ラジオを聞いたり、FM 局と AM 局を切りかえます。

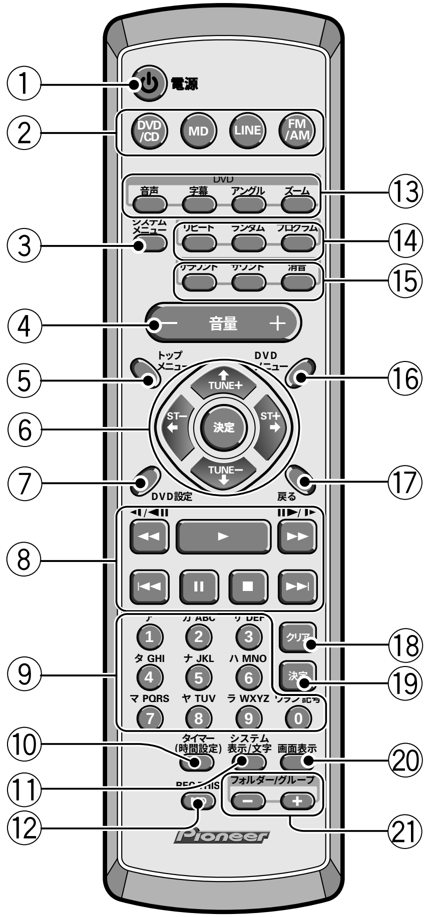
⑯ **システムメニューボタン**
各種設定に使用します。

⑰ **決定ボタン**

⑱ **ヘッドホン端子**
市販のヘッドホンを接続します。
インピーダンス16Ω〜50Ω（推奨32Ω）、直径 3.5 Φステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

⑲ **フロントドア**
PULL OPEN の部分を手前に引くとドアが開きます。

リモコン



① **電源ボタン**
押すと電源が入ります。もう一度押すとスタンバイ状態になり、本体表示部のバックライトが消灯します。

② **ダイレクト再生ボタン**
以下の４つのボタンを押すと、スタンバイ時でも電源がオンになります。また、ラジオ放送やディスクがセットされている場合は、再生を開始します。

DVD/CDボタン
DVDやCD、MP3、ビデオCDを再生したり、一時停止します。

MDボタン
MDを再生したり、一時停止します。

LINEボタン
本機に接続した外部機器の音を聞くときに使用します。

FM/AMボタン
ラジオを聞いたり、FM局とAM局を切りかえます。

③ **システムメニューボタン**
各種設定に使用します。

④ **音量ボタン（24ページ）**

⑤ **トップメニューボタン**
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します。

⑥ **⇧ ⇩⇦ ⇨ / 決定ボタン**
項目の選択や変更、またはDVDなどのメニューや設定画面にて、カーソルを上下左右に移動します。
また、ラジオのステーションの選択や放送局のチューニングにも使用します。

⑦ **DVD設定ボタン**
メインメニュー画面を表示したり、操作/設定の途中で画面をオフにします。

⑧ **►ボタン**
再生するときに使用します。

■ ボタン
停止するときに使用します。

II ボタン
一時停止するときに使用します。

◀◀/◀I/◀II ボタン
再生中に早戻しをします。また、DVDの一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生をし、押し続けると逆方向にスロー再生をします。

▶▶/II▶/I▶ ボタン
再生中に早送りをします。また、DVDの一時停止中に押すとコマ送り再生をし、押し続けるとスロー再生をします。

▶▶I ボタン
次のチャプター / トラックに送ります。

I◀◀ ボタン
再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

⑨ **文字/数字ボタン**
見たい / 聞きたいタイトル / チャプター / トラックを指定します。
また、文字を入力するときや、メニュー画面で項目を選択するときにも使用します。

⑩ **タイマー（時間設定）ボタン（22, 92, 94ページ）**
時計の時刻を合わせたり、目覚ましタイマーやタイマー録音を設定します。

⑪ **システム表示/文字ボタン（23, 72, 86ページ）**
MDとラジオの表示の切りかえ、文字入力時の文字の種類を切りかえます。

⑫ **MD REC THISボタン（37ページ）**
いま聞いているCDの曲を、MDに録音します。

⑬ **音声ボタン（29, 33ページ）**
言語、または音声を切りかえます。

字幕ボタン（29ページ）
DVDの字幕言語を切りかえます。

アングルボタン（51ページ）
DVDのアングルを切りかえます。

ズームボタン（51ページ）
映像を拡大します。

⑭ **リピートボタン（48ページ）**

ランダムボタン（49ページ）

プログラムボタン（50, 56ページ）

⑮ **サラウンドボタン （88ページ）**

サウンドボタン（90-91ページ）

消音ボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すとミュートは解除され、消音する前の音量に戻ります。

⑯ **DVDメニューボタン**
DVDのメニュー画面を表示するときに使用します。また、MP3やCDでは、ディスクナビゲーター画面を表示するときに使用します。

⑰ **戻るボタン**
DVDの初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

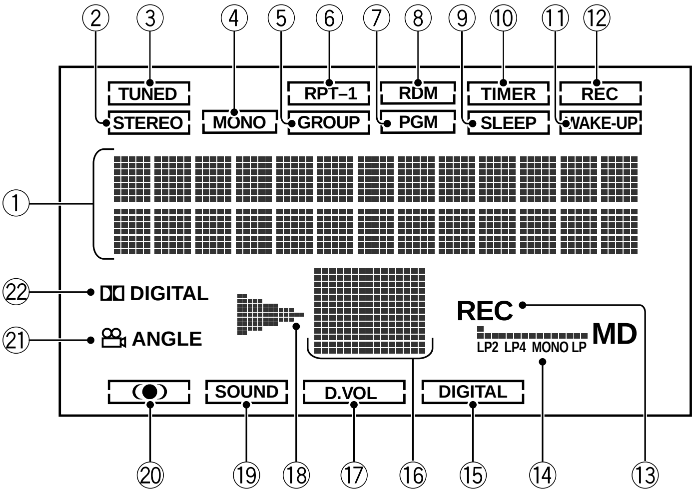
⑱ **クリアボタン（50, 57, 73ページ）**

⑲ **決定ボタン**

⑳ **画面表示ボタン（62-63ページ）**
DVDやCDなどのディスクの情報を表示するときに使用します。

㉑ **フォルダー/グループサーチボタン（47, 84ページ）**
MP3のフォルダーの頭出しをしたり、グループ登録されたMDのグループの頭出しをするときに使用します。

表示部

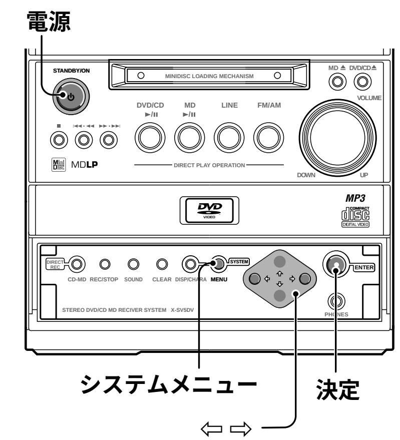


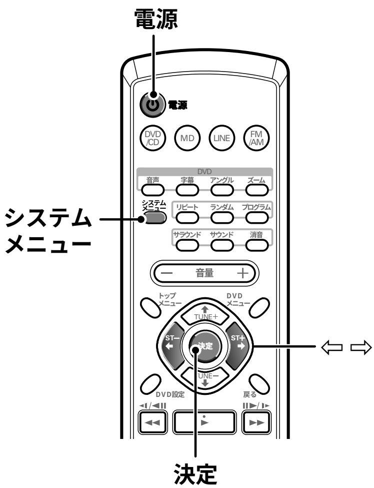
① 文字や数字を表示します。
② FM放送でステレオ受信しているときに点灯します。
③ FM/AM放送受信時に点灯します。
④ FM放送の受信設定をモノラルに設定すると点灯します。（41ページ）
⑤ MDのグループ再生機能にて、グループプレイが設定されていると点灯します。（85ページ）
⑥ 全曲リピート再生時にはRPTと点灯し、1曲リピート再生時は、RPT-1と点灯します。
⑦ プログラム設定時、または再生時に点灯します。
⑧ ランダム再生時に点灯します。
⑨ スリープタイマー設定時に点灯します。
⑩ タイマー設定時に点灯します。
⑪ 目覚ましタイマー設定時に点灯します。また、目覚ましタイマー動作時に点滅します。
⑫ 録音タイマー設定時に点灯します。また、録音タイマー動作時に点滅します。
⑬ 録音中に点灯します。
⑭ MDのステレオ長時間録音（LP2モード）設定時にLP2と点灯します。
MDのステレオ長時間録音（LP4モード）設定時にLP4と点灯します。
MDのモノラル長時間録音設定時にMONO LPと点灯します。
⑮ 録音の設定において、デジタル録音が設定されていると点灯します。
⑯ 選択されているファンクションのマークを表示します。
⑰ デジタル録音レベルを0dB以外に設定すると点灯します。
⑱ MDやDVDなどのディスクの再生中に点灯し、一時停止中に点滅します。
⑲ 音質をFLATに設定すると消灯します。（90ページ）
⑳ バーチャルサラウンドを選択しているときに点灯します。
㉑ DVDソフトを再生中、アングルを変更できる場面で点灯します。
㉒ ドルビーデジタル音声を再生しているときに点灯します。

液晶表示素子(LCD)について
本機で使用している液晶表示素子は、温度により色が変化する性質を持っています。室温の高い部屋や大音量で長時間動作させた場合に色調が紫色に変化することがありますが、温度が下がれば元に戻りますので安心してご使用ください。

デモ表示を解除しましょう

電源コードをコンセントに差し込んだときなど、表示部にいろいろな表示を自動的に行うことを、デモ表示といいます。





一時的にデモ表示を解除するには

リモコンや本体のいずれかのボタンを押します

デモ表示を一時的に解除します。この場合は、以下のときに再びデモ表示を行います。

- 電源コードをコンセントに差し込んだとき
- DVD、CD、MDの再生や録音が終了して5分以上何も操作をしないとき
- 停電したあと

デモ表示をしないように設定するには

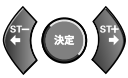
1. 電源⏻ボタンを押して電源をオフにします



2. システムメニューボタンを押します

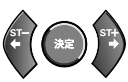


3. ⇦ ⇨ で"DEMO MODE"にしてから、決定ボタンを押します



DEMO MODE

4. ⇦ ⇨ で"OFF"にしてから、決定ボタンを押します



再びデモ表示を設定する場合は、"ON"にしてから決定ボタンを押します。

Q&A

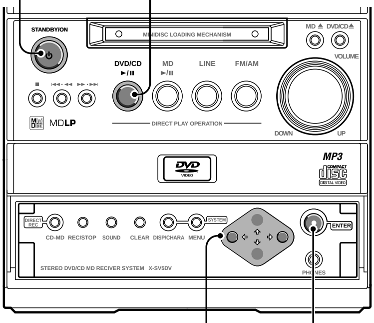
Q ： デモ表示をしない！

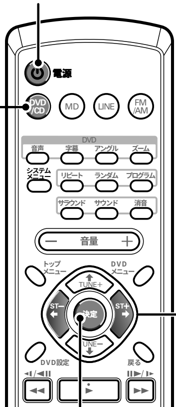
→ 22ページにて時刻を設定すると、デモ表示は強制的に解除されます。

注 意

◆ デモ表示を解除した場合でも、電源コードを抜いたり停電した状態が長時間続くと、再度電源コードをコンセントに差したり通電が再開したときに、デモ表示をする場合があります。

接続したテレビの種類を選びましょう





DVDを再生する前に、本機と接続したテレビの種類を選びましょう。
この設定画面は、一度設定すると次に電源を入れたときには表示されません。あとから変更する場合は、初期設定の**[テレビ画面]**(99ページ)で設定してください。

1. 電源⏻ボタンを押して、本機の電源をオフにします



2. 接続したテレビの電源を入れます

テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。

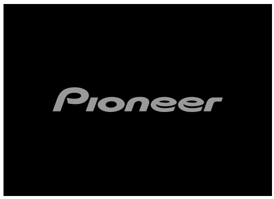
3. テレビの入力を切りかえます

テレビの入力を、本機とつないだ入力端子に切りかえます。

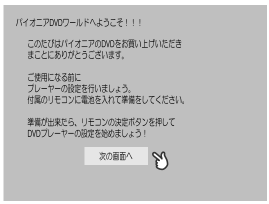
4. DVD/CDボタンを押します



テレビ画面に[Pioneer]が表示されます。



次に下記の設定画面が表示されます。


パイオニアDVDワールドへようこそ！！！

このたびはパイオニアのDVDをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご使用になる前にプレーヤーの設定を行いましょう。
付属のリモコンに電池を入れて準備をしてください。

準備が出来たら、リモコンの決定ボタンを押してDVDプレーヤーの設定を始めましょう！

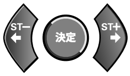
次の画面へ

5. 決定ボタンを押します

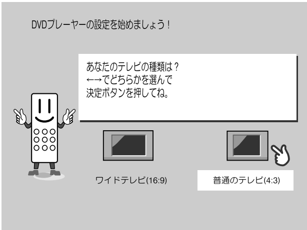


設定画面の指示にしたがって、本機の初期設定を開始します。

6. 接続したテレビの種類を選びます

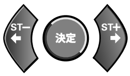


⇦ ⇨ で選んでから、決定ボタンを押します。

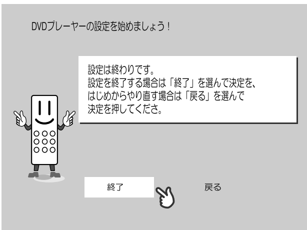


接続したテレビが、[**ワイドテレビ(16:9)**]か[**普通のテレビ(4:3)**]かを選択します。

7. 設定画面を終了します



⇦ ⇨ で[**終了**]を選んでから、決定ボタンを押します。



手順6をやり直す場合は、⇦ ⇨ で[戻る]を選んでから、決定ボタンを押します。

8. 設定が終了しました！

DVDを再生するときは24ページ、
CDやMP3を再生するときは30～31ページ、
ビデオCDを再生するときは32ページ、
MDを再生するときは34ページ、
ラジオを聞くときは40ページ、

をご覧ください。

メ モ

▼ DVD/ CD/ MP3/ ビデオCDが停止してから本機を数分間操作しないと、スクリーンセーバーが表示（テレビ画面に[Pioneer]がランダムに表示）されます。再び操作を開始すると、スクリーンセーバーは解除されます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(12ページ)

Q2: 映像が映らない！

→ ビデオコード(黄)が正しく接続されていますか？(10ページ)

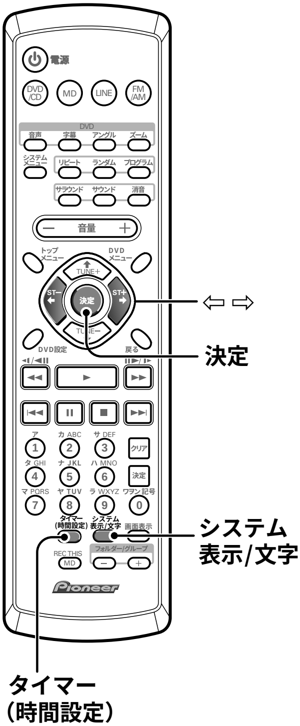
→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

Q3: リモコンで操作できない！

→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲内で操作してください。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体に向けて操作してください。(15ページ)

時計を合わせましょう



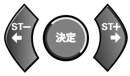
お買い上げ時の時計表示は、12時間表示です。
時計を合わせていないと、タイマー動作（92〜96ページ参照）を行うことはできません。
また、時計表示を24時間表示に切りかえることもできます。（111ページ参照）

例）2002年4月21日 午後6時40分に合わせる場合

1. リモコンのタイマー（時間設定）ボタンを押します

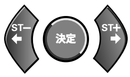


2. ⇦ ⇨ で"CLOCK ADJ."を選んでから、決定ボタンを押します



CLOCK ADJ.

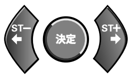
3. ⇦ ⇨ で「年」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"02"にします。

02/06/01

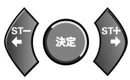
4. ⇦ ⇨ で「月」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"04"にします。

02/04/01

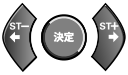
5. ⇦ ⇨ で「日」を合わせてから、決定ボタンを押します



例の場合は、"21"にします。

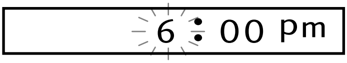
02/04/21

6.

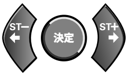


⇦ ⇨ で「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"6 pm" にします。

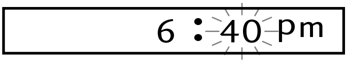


7.



⇦ ⇨ で「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"40" にします。



「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

注 意

◆ 停電したり電源コードを抜くと時計表示が点滅します。この場合はもう一度時計を合わせ直してください。

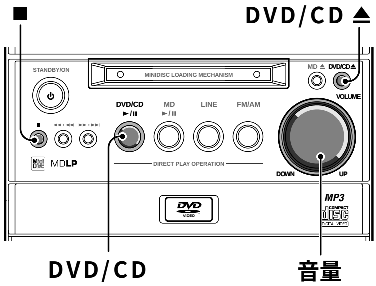
時計を確認するには

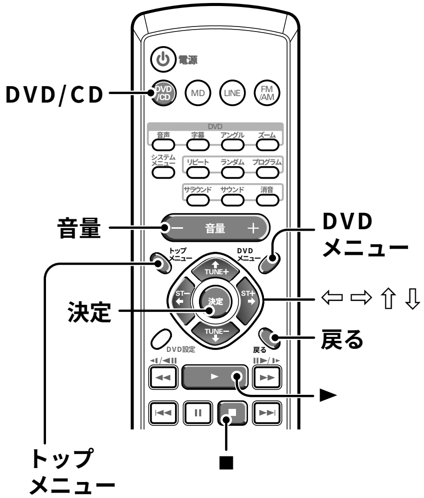


システム表示/文字ボタンを2秒以上押します

時計を 5 秒間表示します。
電源がオフ（スタンバイ状態）の場合でも、表示部が点灯して、5 秒間時計の表示をします。

DVDを再生しましょう





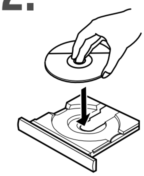
あらかじめ、接続したテレビの電源や入力切りかえ、本機の電源を入れておきます。

1. 本体の DVD/CD ▲ ボタンを押します



ディスクテーブルが出てきます。

2. DVD をセットします



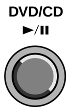
印刷面を上にし、ディスクテーブルのミゾに合わせて、DVD をセットします。

3. 本体の DVD/CD ▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉めます



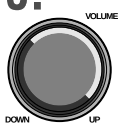
ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。

4. DVD/CDボタンを押して、再生を開始します



一度再生した後は、リモコンの ► ボタンでも、操作できます。

5. 音量を調整します



はじめて使用する場合や電源コードを抜いたり停電の後では、音量はゼロになっています。

停止するには

■ ボタンを押します



■ ボタンを 1 回押すと表示窓に、

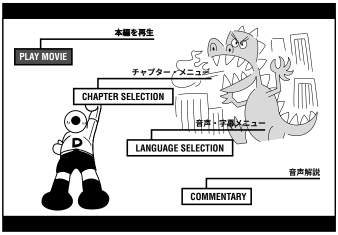
RESUME

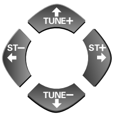
と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。

DVDを取り出すか、停止中に■ボタンをもう一回押すと、リジューム機能は解除されます。

DVDのメニュー画面が表示されたら

再生が始まると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります。メニュー画面の内容や操作方法はDVDによって異なりますが、基本的な操作は以下の通りです。

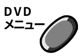




画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。



選択した項目を、決定するときに押します。



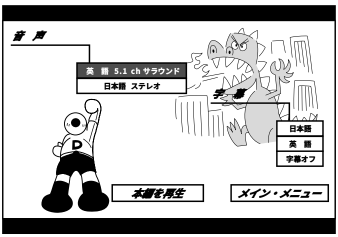
再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。



DVDのメニューにて、前の画面に戻るときに押します。



階層のあるDVDのメニューにて、はじめのメイン・メニューに戻るときに押します。



- 映画などのDVDのメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVDによっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切りかえることもできます。(29ページ)

メモ

▼ 画面の上下に帯がつくDVDがあります。本機の故障ではありません。
▼ DVDのメニューによっては、リモコンの数字ボタンにて番号を選んで再生できるものもあります。

注意

◆ 2層(Dual Layer)のDVDの場合、1層から2層目に切りかわるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。
◆ ズーム(51ページ)にて映像の拡大中にDVDのメニューを表示させた場合、メニューの項目を選択することはできません。

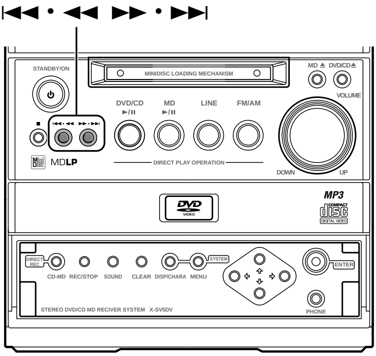
Q&A

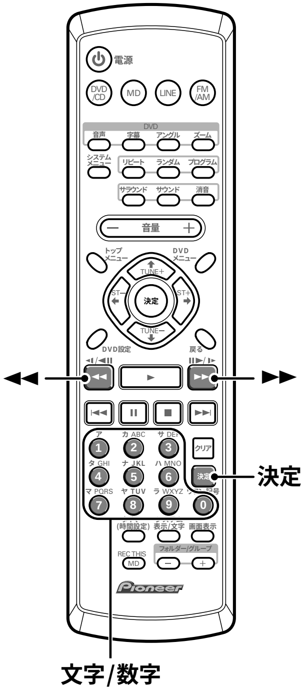
Q1：ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない！

→ DVDがディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ DVDが汚れていませんか？DVDをクリーニングしてください。
→ DVDの表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです。(116ページ)

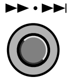
Q2：音が出ない！

→ ボリュームを上げてください。
→ DTSで記録されている音声は、出力されません。音声ボタンを押して、その他の記録フォーマットを選んでください。(29ページ)





ちょっと場面を進めたいときは



本体の▶▶・▶▶|ボタンを押し続けます

[スキャン 1 ▶▶]とテレビ画面に表示され、早送りをします。



リモコンの ▶▶ ボタンを押します

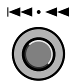
早送りをします。見たい場面まで進めたら ▶ ボタンを押します。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ▶▶]とテレビ画面に表示されます。

ちょっと場面を見逃したときは



本体の|◀◀・◀◀ボタンを押し続けます

[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示され、早戻しをします。



リモコンの ◀◀ ボタンを押します

早戻しをします。見たい場面まで戻したら ▶ ボタンを押します。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ◀◀]とテレビ画面に表示されます。

DVDのタイトルやチャプターを指定して再生してみましょう

DVDのメニューを使わないで、ダイレクトに見たいタイトルやチャプターを再生することができます。**（ダイレクトサーチ機能）**

タイトルを指定して再生するには･･･

1. 0～9

停止中に、文字/数字(0～9)ボタンでタイトル番号を入力します

例えば、タイトル5を再生するには、5を押します。

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトルを指定して再生できないディスクもあります。

2. 決定

決定ボタンを押します

チャプターを指定して再生するには･･･

1. 0～9

再生中に、文字/数字(0～9)ボタンでチャプター番号を入力します

例えば、チャプター12を再生するには、1, 2 を押します。

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル内のチャプターのみを指定することができます。

2. 決定

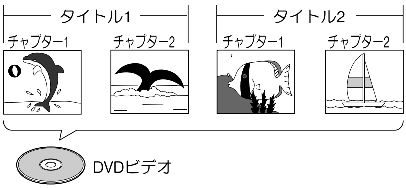
決定ボタンを押します

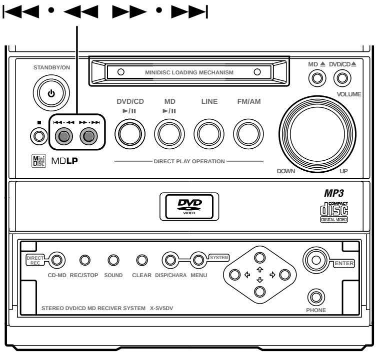
すぐに再生をはじめたいときに押します。

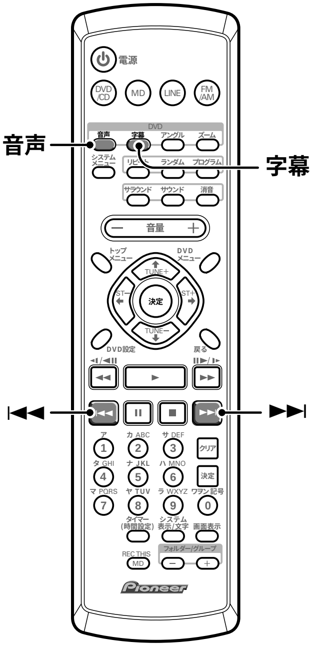
メモ

▼ タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどでは、一般的に1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。



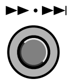




DVD のチャプターのスキップ (頭出し)をしましょう

押した回数だけスキップします。

見たいチャプターに進むには･･･



再生中に、本体の ▶▶・▶▶| ボタンを短く押します

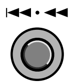
次のチャプターに進みます。



再生中に、リモコンの▶▶|ボタンを押します

次のチャプターに進みます。

見たいチャプターに戻るには･･･



再生中に、本体の |◀◀・◀◀ ボタンを短く押します

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2回押すと1つ前のチャプターに戻ります。



再生中に、リモコンの|◀◀ボタンを押します

再生中のチャプターの先頭に戻ります。2回押すと1つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと休憩というときは



リモコンのIIボタンを押して、一時停止します

本体で操作する場合は、DVD/CDボタンを押します。通常の再生に戻すときは もう一度同じボタンを押すか、► ボタンを押します。

字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしてみましょう（お好みの音声と字幕に切りかえる）

DVD の中には、複数の音声や字幕が収録されているものがあります(ディスクによって収録されている言語数は異なります)。
ここでは英語と日本語が収録されているディスクを例に説明します。
ディスクによってはリモコンで音声や字幕を切りかえられないものがあります。このようなときは、DVD のメニュー画面で切りかえてください。(25 ページ)

音声を切りかえるには

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されている DVD では、他の言語を選ぶこともできます)。



DVD 再生中に、リモコンの音声ボタンを押す

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

音声　現在/総数 1/3　英語　Dolby Digital 3/2.1CH
↓
音声　現在/総数 2/3　日本語　Dolby Digital 3/2.1CH
↓
音声　現在/総数 3/3　英語　Dolby Digital 2CH

字幕を切りかえるには

ここでは字幕はオフを選びます(もちろん複数の字幕言語が収録されている DVD では、他の字幕言語を選ぶこともできます)。



DVD 再生中に、リモコンの字幕ボタンを押す

一度押すと現在再生している字幕を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

字幕　現在/総数 1/2　日本語
↓
字幕　現在/総数 2/2　英語
↓
字幕　オフ

注 意

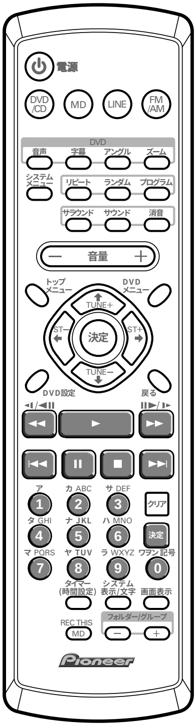
◆ ここで切りかえた音声や字幕の設定は、下記のようなときには初期設定(101-103ページ)にて設定した状態に戻ります。
⇨ リジューム機能(24 ページ)を解除したとき
⇨ DVD を取り出したとき

◆ 再生中の DVD によっては音声を切りかえたときに一瞬静止画になることがあります。

◆ 本機のスピーカーやヘッドホンからは、DTS にて記録された音声を出力することはできません。音声は、DTS以外を選んでください。

CD(CD-R/CD-RW)を再生しましょう

再生する前に 24 ページを参照して、ディスクをセットしてください。



何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	1 曲目から再生します。
停止する	■	CD(CD-R/CD-RW)では、リジューム機能（24 ページ）は働きません。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または❚❚**ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄　►►❙	押した回数だけスキップします。
早送りする	❚❚►/❚► ►►	スキャン中は TV 画面に **[スキャン1 ►►]** と表示されます。早送りの速さを 2 段階（**スキャン1 →スキャン2** ）に切りかえることができます。早送り中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻しする	◄❚/◄❚❚ ◄◄	スキャン中は TV 画面に **[スキャン1 ◄◄]** と表示されます。早戻しの速さを 2 段階（**スキャン1 →スキャン2** ）に切りかえることができます。早戻し中に通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 〜 9	聞きたいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約 2 秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。トラック 12 を選択する場合は、**文字 / 数字ボタン**の **1,2** を押します。

Q&A

Q1 : CD-R/RW が再生できない。

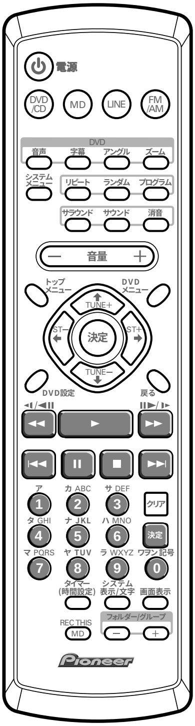
→　パソコンで記録された CD-R/RW は再生できないことがあります。

Q2 : CD-G が再生できない。

→　CD-G のグラフィック映像は再生できません。

MP3 ファイルを再生しましょう

再生する前に 24 ページを参照して、ディスクをセットしてください。



何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	ＭＰ３では、リジューム機能（24 ページ）は働きません。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または**IIボタン**を押します。
頭出しする	⏮ ⏭	押した回数だけスキップします。
早送りする	II►/I► ►►	早送り中は TV 画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。ただし、速さは 1 段階固定となります。 通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
早戻しする	◄I/◄II ◄◄	早戻し中は TV 画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。 通常の再生に戻すには、**► ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 〜 9	聞きたいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約 2 秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。

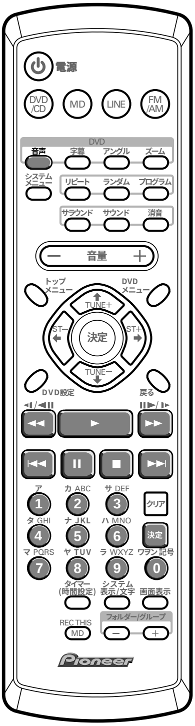
Q&A

Q ：MP3 ファイルを記録したディスクが再生できない。

→ 画面に**[このフォーマットは再生できません]**と表示されていませんか。この場合、以下のような原因が考えられます。
- 記録したディスクが ISO9960 フォーマットに準拠していない。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHz の固定ビットレートで記録されていない(116 ページ)。

ビデオ CD を再生しましょう

再生する前に 24 ページを参照して、ディスクをセットしてください。



何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については次ページをご覧ください。
停止する	■	本体の表示窓に**[RESUME]**と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。記憶した内容は、ファンクションを切りかえたり電源をオフにすると解除されます。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または ❚❚ **ボタン**を押します。
頭出しする	⏮ ⏭	押した回数だけスキップします。
早送りする	❚❚►/❚► ►►	スキャン中は TV 画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。早送りの速さを 2 段階(**スキャン 1 →スキャン 2**)に切りかえられます。通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
早戻しする	◄❚/◄❚❚ ◄◄	スキャン中は TV 画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。早戻しの速さを 2 段階(**スキャン 1 →スキャン 2**)に切りかえられます。通常の再生に戻すには、**►ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 ～ 9	見たいトラックの番号を**文字 / 数字ボタン**で選択します。約2秒経過すると再生を開始します。すぐに再生したいときは**決定ボタン**を押します。

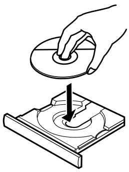
Q&A

Q: ビデオ CD が再生できない。

→ パソコンで記録されたビデオ CD は再生できないことがあります。

メニュー画面から再生しましょう(PBC 再生)

ビデオ CD では、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. 

PBC 再生対応のビデオ CD ディスクをセットしてから、DVD/CD ボタンを押して再生します

メニュー画面が表示されます。

ビデオCDカラオケ		
1	Stand up!	Rock
2	Hello!	Pops
3	Over the Mountain	R&B
4	Help Me!	Jazz
5	It's fine today	Pops

2. 0 〜 9　決定

文字 / 数字ボタンで再生したいトラックを選んでから、決定ボタンを押します

再生を開始します。再生中に戻るボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには

►►|　|◄◄

メニュー画面を表示中に、|◄◄ または ►►| ボタンを押します

メニュー画面を出さずに再生するには（PBC 再生を解除して再生する）

停止中に下記のいずれかのボタンを使って、再生するトラックを選択します。

1. ►►|　|◄◄

|◄◄、または ►►| ボタンで選択します

1. 0 〜 9　決定

文字 / 数字ボタンで選択してから決定します

トラックを選んでから、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

例えば、トラックの 12 曲目を再生するには、1, 2 を押してから、決定ボタンを押します。

音声を切りかえるときは

音声

音声ボタンを押します

一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切りかわります。

→ ステレオ → 左チャンネル → 右チャンネル →

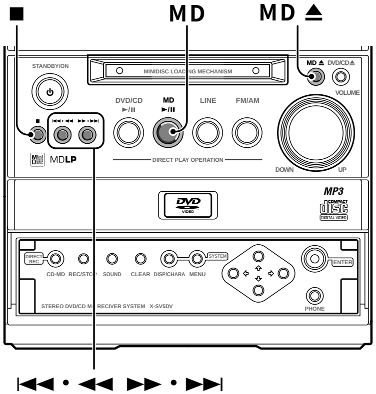
ステレオの表示例

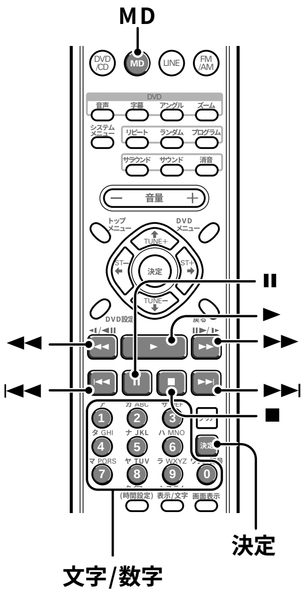
音声	ステレオ

メ モ

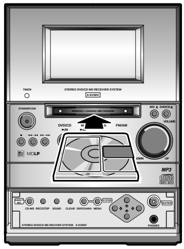
▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

MDを再生してみましょう



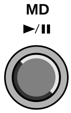


1. MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。
再生専用MDや誤消去防止つまみが開いているMDを挿入すると、自動的に再生を開始します。

2. MDボタンを押します



再生を開始します。

再生を一時停止するには



リモコンの II ボタンを押します。
本体で操作する場合は、MDボタンを押します。通常の再生に戻すときはもう一度同じボタンを押すか、▶ ボタンを押します。

再生をやめるには



■ ボタンを押します。

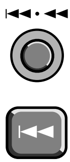
MDを取り出すには



MD取り出し(▲)ボタンを押します。

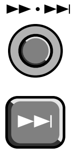
曲をスキップしましょう

前の曲に戻るには



本体の|◀◀・◀◀ボタンを短く押します。リモコンでは、|◀◀ボタンを押します。
再生中に1回だけ押すと、再生している曲の頭に戻ります。

次の曲に移るには



本体の▶▶・▶▶|ボタンを短く押します。リモコンでは、▶▶|ボタンを押します。

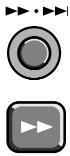
注 意

◆ 次の場合は聞きたい曲を選ぶ操作はできませんので、|◀◀ ▶▶| ボタンを押して曲を選んでください。
- ・プログラム再生中（65 ページ参照）
- ・ランダム再生中（64 ページ参照）
- ・グループプレイモードでの再生中（85 ページ参照）

早送り・早戻しをしましょう

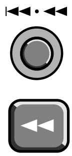
再生を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには



再生中に 本体の▶▶・▶▶|ボタンを押し続けます。リモコンでは、再生中に▶▶ ボタンを押し続けます。

早戻しするには



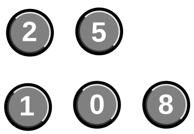
再生中に 本体の|◀◀・◀◀ボタンを押し続けます。リモコンでは、再生中に◀◀ ボタンを押し続けます。

聞きたい曲を選びましょう

1. 聞きたい曲の曲番号を文字 / 数字ボタンで選びます

（例）25 曲目を選曲する ：

108 曲目を選曲する ：



番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

2. 決定ボタンを押します



すぐに再生をはじめたいときに押します。

基本編

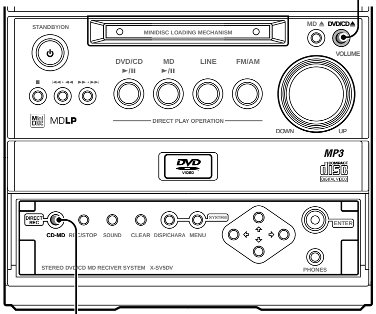
MDを使う

CDをMDに録音しましょう(ダイレクト録音)

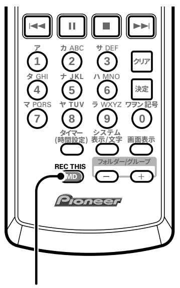
基本編

MDを使う

DVD/CD ▲



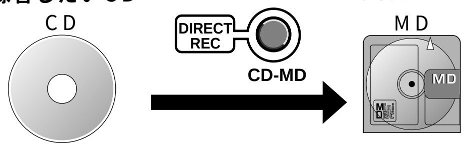
CD-MDダイレクト録音



REC THISボタン

CDの全曲をまるごと録音しましょう

ボタンをひとつ押すだけで、自動的にセットされているCDの全曲を録音します。
また、CDの好きな曲だけをMDに録音する場合は、66ページを参照してください。

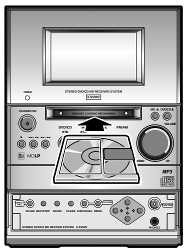


1. 録音もとのCDをセットします



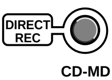
DVD/CD ▲ボタンを押して、ディスクトレイを開けてから、ディスクをセットします。

2. 録音用MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

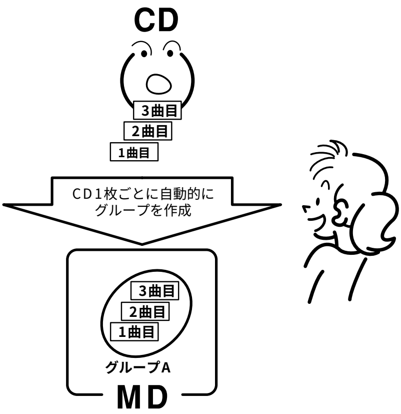
3. CD-MDダイレクト録音ボタンを押します



録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。録音を中止する場合は、■ボタンまたはREC/STOPボタンを押します。

メモ

▼ お買い上げ時は通常のステレオ録音に設定されています。LP4 またはLP2 モード（38 ページ参照）に設定すると、より長時間録音ができます。
▼ MP3 ディスクでも同様に操作することができます。ただしその場合は、アナログ録音となります。
▼ セットしたディスクをまるごと録音すると、CD の一枚ごとに自動でグループ登録（79 ページ参照）されます。



注 意

◆ DVD やビデオ CD はダイレクト録音ができません。マニュアル操作によるアナログ録音（67ページ参照）となります。

❓ Q&A

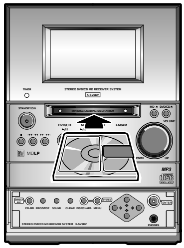
Q ： "Can't REC" と表示が出て録音できない！

→ デジタル録音された CD-R/CD-RWを、デジタルで MD に録音することはできません。122 ページを参照して、アナログ録音に切りかえてください。

CD の 1 曲だけを録音しましょう（いま聞いている曲を録音する）

再生中の曲を簡単に録音できます。

1. 録音用 MD をセットします



ラベルを上にしてMD の矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したい CD の曲の再生中に、REC THIS ボタンを押します



曲のはじめから録音を開始し、録音が終了するとMDは停止します。CDは、そのまま再生を続けます。
途中で録音を停止する場合は、■ボタンまたは REC/STOP ボタンを押します。

メモ

▼ MP3ディスクでも同様に操作することができます。ただしアナログ録音となります。

注 意

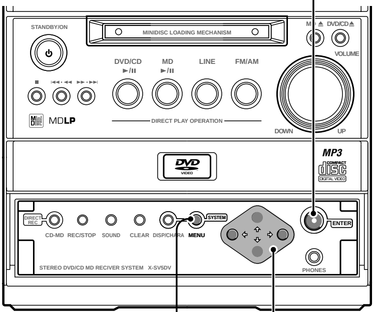
◆ CDの１曲だけを録音した場合、グループ登録は行いません。

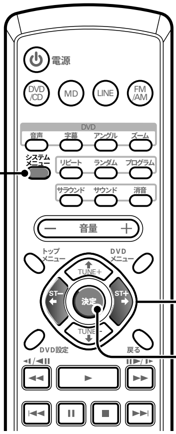
❓ Q&A

Q ： MP3のいま聞いている曲を録音できない！

→ 曲名やフォルダー名の表示中(63ページ)は、REC THIS ボタンでの録音をすることはできません。

基本編
MDを使う





MDLP

長時間録音（MDLP）の設定をするときは

MDに録音する設定を、通常のステレオ録音の約2倍（LP2モード）または4倍（LP4モード）にすると、長時間ステレオ録音ができます（MDLP録音）。数枚のCDを一枚のMDに録音するときに便利です。
例えば、80分のMDではLP2モードで160分、LP4モードで320分の長時間録音ができます。
ただし、LP2またはLP4モードで録音された曲は、MDLP機能が搭載されていない機器では再生できません。
各録音モードの違いは以下の表のとおりです。

録音モード	ステレオ/モノラル	録音時間	音質
STEREO	ステレオ(通常のステレオ録音)	1倍	◎
MONO LP	モノラル	2倍	◎
LP2	ステレオ(MDLP)	2倍	○
LP4	ステレオ(MDLP)	4倍	△

◎ .... 最良の音質です
○ .... ◎ の音質より劣ります
△ .... ○ の音質より劣ります

メモ

▼ お買い上げ時の録音モードは、STEREO(通常のステレオ録音)に設定されています。

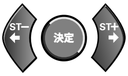
1. 録音設定したい録音もとの入力を選びます

CDからの録音の場合は、DVD/CDボタンを押してから■ボタンを押します。

2. システムメニューボタンを押します



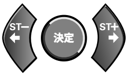
3. ⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します



MD　MENU

中止する場合は、■ ボタンを押します。

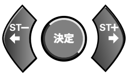
4. ⇦ ⇨ で"REC MODE"を選んでから、決定ボタンを押します



REC　MODE

中止する場合は、■ ボタンを押します。

5. ⇦ ⇨ で録音のモードを選んでから、決定ボタンを押します



以下のように切りかわります。

STEREO
（通常のステレオ録音）
↓
LP2(ステレオ/MDLP)
↓
LP4(ステレオ/MDLP)
↓
MONO LP(モノラル)
（→ STEREO に戻る）

LP2 モードを選んだときの表示

LP2

LP2 モードに設定した場合は、**LP2** と点灯します。
LP4 モードに設定した場合は、**LP4** と点灯します。
モノラル録音に設定した場合は、**MONO LP** と点灯します。

メ モ

▼ 長時間録音の設定は、一度設定すると次に切り換えるまで変更されません。

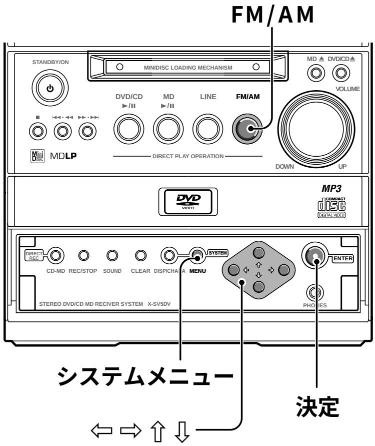
注 意

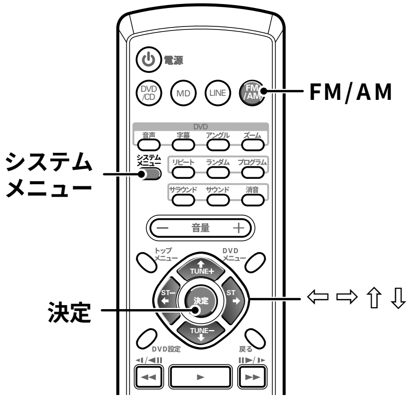
◆ 本機で LP2、LP4 モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。

◆ LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

FM/AM 放送を聞きましょう

アンテナが接続されていないと、FM/AM 放送を聞くことはできません。10〜13ページを参照して、アンテナを接続してください。





1. FM/AM ボタンを押します



ラジオが聞ける状態になります。

FM 76.00 MHz

押すごとに、FM と AM が切りかわります。
FM 放送を聞くときは FM を、AM 放送を聞くときは AM を選択してください。

2. ⇧ ⇩ を押して、聞きたい放送局の周波数に合わせます





周波数の合わせ方（チューニング）のしかたには、以下の 3 種類があります。

オートチューニング

⇧ ⇩ を押して、周波数が動きはじめたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度 ⇧ ⇩ を押すか、■ ボタンを押します。

マニュアルチューニング

⇧ ⇩ を 1 回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

ハイスピードマニュアルチューニング

⇧ ⇩ を押し続けます。
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM 放送に雑音が多いときは

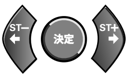
遠い放送局や電波の弱い地域などで、FM のステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくします。
お買い上げ時は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切りかえる"**AUTO**"に設定されています。

1. 

FM/AM ボタンを押して、FM 放送にします

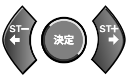
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

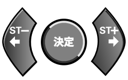
⇦ ⇨ で "TUNER MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

TUNER MENU

4. 

⇦ ⇨ で "FM MODE" を選んでから、決定ボタンを押します

FM MODE

5. 

⇦ ⇨ で "MONO" を選んでから、決定ボタンを押します

表示部に、"**MONO**" と点灯します。
"**AUTO**" に設定する場合は、
"**AUTO**" にします。

メ モ

▼ 放送局を受信すると、表示部に"**TUNED**"が点灯します。FM ステレオ放送のときは "**STEREO**" も一緒に点灯します。

▼ 本機はテレビ放送の1〜3チャンネルの音声を受信できます。
各チャンネルの周波数は次のとおりです。
1ch： 95.75MHz
2ch： 101.75MHz
3ch： 107.75MHz
音声はモノラルになります。2ヶ国語放送は主音声のみとなります。

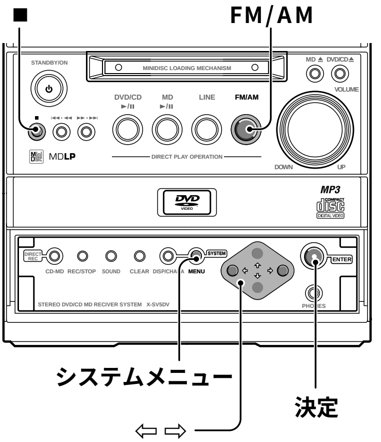
▼ 1ステップの周波数は切り換えることができます。詳しくは 111 ページを参照してください。

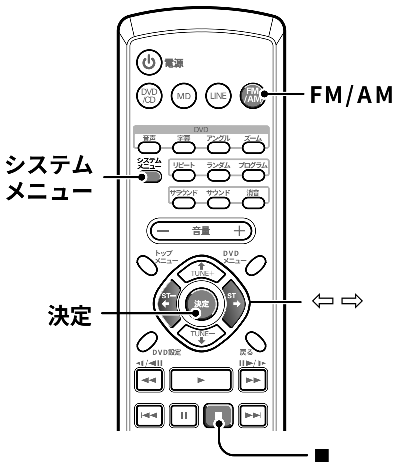
注 意

◆ FM 放送の 90MHz〜108MHz はテレビ信号が影響して、正しくオートチューニングできないことがあります。この場合はマニュアルチューニングで周波数を合わせてください。

◆ 本機のFM放送受信回路とテレビ音声受信回路とは兼用回路のため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

◆ ステレオ受信の場合でも、モノラル放送の場合や電波の弱い場合は、"**STEREO**" は点灯しません。





放送局を自動的に選局して記憶させましょう

受信できるFMとAMの放送局を自動的に受信しながら、30局までステーション（記憶番号）に記憶させていきます。
FM局を記憶してからAM局の記憶をはじめます。

1. FM/AMボタンを押します

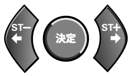


ラジオが聞ける状態にします。

2. システムメニューボタンを押します

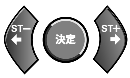


3. ⇦ ⇨ で"TUNER MENU"を選んでから、決定ボタンを押します



TUNER MENU

4. ⇦ ⇨ で"AUTO PRESET"を選んでから、決定ボタンを押します



AUTO PRESET

FM/AM放送の受信を開始します。
はじめにFM局を受信してステーション1から順に記憶し、その後AM局を受信して記憶を開始します。

5. 放送局を受信すると、記憶させるかどうかの確認表示になります。

ST− 1   SET ?

6. 記憶させる場合は、決定ボタンを押します

記憶させない場合はクリアボタンを押します。決定ボタンを押すと、次の放送局の受信を開始します。

途中で終了する場合は、■ボタンを押します

30局まで記憶した場合や周波数が一巡した場合は、自動的に終了します。

放送局を手動で記憶させましょう

FM/AM 放送あわせて 30 局まで、ステーション（記憶番号）に記憶することができます。

例）FM82.5MHzをステーション3へ記憶させます

1. 記憶したい放送局を受信します

40 ページを参照して受信します。
例の場合は、FM 82.5MHzを受信します。

FM 82.50 MHz

2. システムメニューボタンを押します

3. ⇦⇨ で "TUNER MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

TUNER MENU

4. ⇦⇨ で "ST.MEMORY" を選んでから、決定ボタンを押します

ST . MEMORY

5. ⇦⇨ で記憶するステーションを選びます

記憶するためのステーションは1～30 まであります。

ST– 3 ⇦⇨

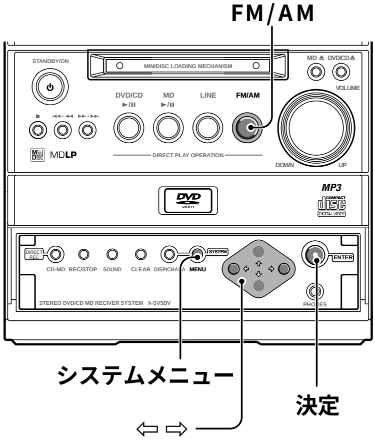
6. 決定ボタンを押して記憶させます

FM 82.5MHz がステーション 3 に記憶されました。

注 意

- ◆ すでに記憶されているステーションへ違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。
- ◆ 停電や電源プラグを抜いた状態が長時間続くと、ステーションに記憶した内容が消えてしまう場合があります。
- ◆ ステーションに自動で放送局を記憶させる場合、FM の受信範囲は 76MHz から 90MHz の範囲内だけです。

FM/AM 放送を聞きましょう



記憶させた放送局を呼び出しましょう

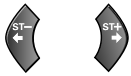
各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。42 ～ 43 ページを参照してください。

1. FM/AM ボタンを押します

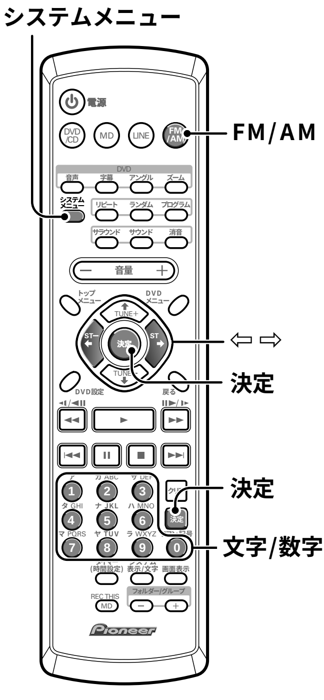


ラジオが聞ける状態にします。

2. ⇦ ⇨ を押して、記憶したステーションを選びます



ST – 1
FM 79.50 MHz



リモコンの文字 / 数字ボタンで選ぶことができます

1. ステーション番号と同じ文字 / 数字ボタンを押します

（例）ステーション 25 ：



ステーション 18 ：



2. 決定ボタンを押します



ダイレクトにステーションを選ぶことができます。

文字/数字ボタンを押して2秒以上待つと、決定ボタンを押さなくても選ぶことができます。

記憶させた放送局に名前をつけましょう

記憶させた放送局（ステーション）に、13 文字以内で名前をつけることができます。
文字の入力方法については、72 〜 73 ページを参照してください。

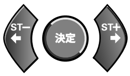
1. 名前をつけたいステーションを選びます

44 ページを参照して操作します。

2. システムメニューボタンを押します

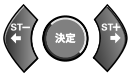


3. ⇦ ⇨ で "TUNER MENU" を選んでから、決定ボタンを押します



TUNER MENU

4. ⇦ ⇨ で "ST. NAME" を選んでから、決定ボタンを押します



ST . NAME

5. 文字を入力して、ステーションに名前をつけます

文字の入力は、72 〜 73 ページを参照します。

6. システムメニューボタンを押して終了します



メ モ

▼ 記憶した放送局に名前がついている場合は、名前が表示されます。受信周波数を確認したいときは、システム表示 / 文字ボタンを押すと、選ばれているステーションの周波数を約 2 秒間表示します。

DVDやビデオCDのスロー再生をする

1. **再生中に、IIボタンを押して、一時停止します**

2. **II▶/I▶ ボタンを押し続けます**

[**スロー 1/16 I▶**]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

スロー再生の速さを変えるには・・・

スロー再生中にII▶/I▶ ボタンを押します

押すごとに下記のように速さが変わります。

1/16 → 1/8 → 1/4 → 1/2 → 1/16

通常の再生に戻すには・・・

▶ ボタンを押します

DVDにて、逆方向にスロー再生するには・・・

DVDディスクではさらに、逆方向にスロー再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押し続けます

DVDにて、逆方向のスロー再生の速さを変えるには・・・

スロー再生中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すごとに、[**スロー1**] ⟷ [**スロー 2**]が切りかわります。

注意

- ◆ スロー再生中は音声が出力されません。
- ◆ スロー再生できないディスクもあります。
- ◆ ビデオCDでは、逆方向のスロー再生はできません。

DVDやビデオCDのコマ送り再生をする

1. **再生中に、IIボタンを押して、一時停止します**

2. **II▶/I▶ ボタンを押します**

押すごとに、コマ送りします。

通常の再生に戻すには・・・

▶ ボタンを押します

DVDにて、逆方向にコマ送り再生するには・・・

DVDディスクではさらに、逆方向にコマ送り再生をすることができます

DVDの一時停止中に、◀I/◀II ボタンを押します

押すごとに、逆方向へコマ送りをします。

注 意

- ◆ コマ送り再生中は、音声が出力されません。
- ◆ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ◆ 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。
- ◆ 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- ◆ ビデオCDでは、逆方向のコマ送り再生はできません。

MP3のフォルダーのスキップ(頭出し)をする

押した回数だけスキップします。

次のフォルダーに進むには・・・

再生中に、フォルダーサーチボタンの＋を押します

1回押すと、次のフォルダーに進みます。

前のフォルダーに戻るには・・・

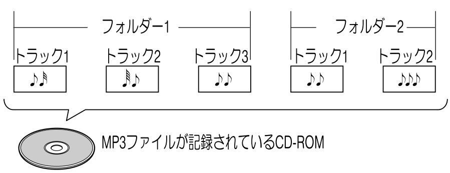
再生中に、フォルダーサーチボタンの−を押します

1回押すと、再生中のフォルダーの始めに戻ります。
続けてフォルダーサーチボタンの−を押すと、前のフォルダーの始めに戻ります。

メ モ

▼ MP3について

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。



DVD /ビデオ CD /CD/ MP3 を繰り返し再生する（リピート再生）

DVD のタイトル / チャプター(場面)、ビデオ CD/CD のトラック(曲)、MP3 のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。



再生中に、リピートボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

DVD

チャプターリピート
↓
タイトルリピート
↓
リピート解除

ビデオ CD/ CD

1曲リピート（再生中のトラック）
↓
全曲リピート（ディスクの全曲）
↓
リピート解除

MP3

トラックリピート
↓
フォルダーリピート
↓
全曲リピート（ディスクの全曲）
↓
リピート解除

リピート再生を止めるには



■ボタンを押します

メ モ

▼ プログラム再生中(56 ページ)にリピートボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

注 意

◆ DVD ではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。
◆ リピート再生中にアングルを切りかえる(51 ページ)と、リピート再生は解除されます。

DVD /ビデオ CD /CD/ MP3 を順不同に再生する（ランダム再生）

DVD を順不同に再生するには

DVD のタイトルやチャプターを順不同に再生します。

1.

ランダム

チャプターをランダム再生する場合は、再生中にランダムボタンを 1 回押します

タイトルをランダム再生する場合は、再生中にランダムボタンを 2 回押します

2.

決定

決定ボタンを押します

再生しているタイトル内のチャプターかタイトルを順不同に再生します。

ビデオ CD、CD、MP3 を順不同に再生するには

ビデオ CD や CD のディスク内のトラック（曲）を順不同に再生します。MP3 の場合は、フォルダー内のトラック（曲）を順不同に再生します。

ランダム

ランダムボタンを押します

- MP3 では、現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
- ビデオCD CD(-R/-RW) では、トラックを順不同に再生します。

ランダム再生を止めるには

■ボタンを押します

メ モ

▼ ランダム再生中に►►ıボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中にı◄◄ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

注 意

◆ ビデオ CD の PBC 再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクの停止中に、トラック番号を数字ボタンで入力し、それからランダムボタンを押します。
◆ DVD の場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ ランダム再生を繰り返してリピートすることはできません。

CDやMP3の聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

CDやMP3の聞きたい曲を最大24曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. 停止中に、プログラムボタンを押します

プログラム

PGM00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。

2. MP3は、聞きたい曲のフォルダー番号の文字 / 数字ボタンを押してから、⇨を押します

0～9

ST+

フォルダー7を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 7 を押してから、⇨ を押します。

PGM01　　7:–––

3. 聞きたい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します

0～9

決定

15 曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。

MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01　　7: 15

CDの15曲目を入力した例

PGM01　　15

4. 手順 2 と 3 を繰り返して、聞きたい曲のフォルダーや曲番号を登録します

CDのときは、手順3だけを繰り返します。

5. ► ボタンを押します

プログラムした順に再生を開始します。

►

登録を間違えたとき

クリア

手順 3 の後に、クリアボタンを押します

押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます。

- 停止中にクリアボタンを押したとき
- DVD/CD ⏏ボタンを押して、ディスクを取り出したとき
- 電源をオフしたとき
- プログラム再生中にランダムボタンを押したとき
- MDやFM/AM放送、外部機器の操作をしたとき

メ モ

▼ 手順2で⇨の代わりに決定ボタンを押すと、選んだフォルダーごとプログラム登録することができます。

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(48ページ) を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**（プログラムリピート再生）**

ＤＶＤの映像のアングルを切りかえる（マルチアングル）

1. 

アングルボタンを押します

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すごとにアングルが切りかわります。



メ モ

▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
▼ メニュー画面でアングルを切り換えることができるディスクもあります。
▼ マークを表示させたくないときは、初期設定の[**アングルマーク表示**]を[**オフ**]にします。(105 ページ)

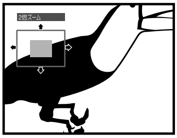
ＤＶＤの映像を拡大して見る（ズーム）

1. 

ズームボタンを押す

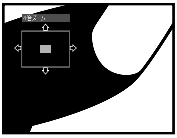
ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1 回押すと･･･



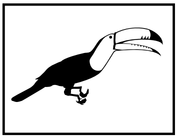
･･･2 倍に拡大！

2 回押すと･･･

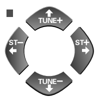


･･･4 倍に拡大！

3 回押すと･･･



･･･通常の映像に戻る

2. 

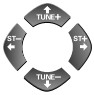
ズームエリア表示中に ⇧ ⇩ ⇦ ⇨ でズームエリアを移動する

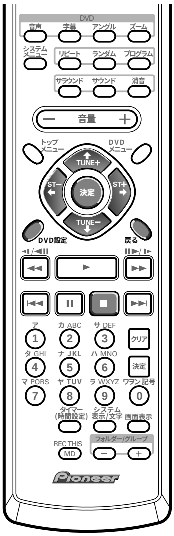
メ モ

▼ 約5秒間ボタン操作がないと、左上のズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度ズームボタンを押してズームエリア表示してください。
▼ ズーム中は字幕が表示されません。
▼ ＤＶＤのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。

プレイモード画面でいろいろな操作をする

プレイモード画面などのテレビに表示された設定画面の操作は、以下のボタンを使用します。

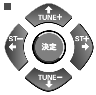
ボタン	操作内容
	項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。
	項目を決定する。
	一つ前の画面に戻る。
	設定画面を表示します。設定中は、設定画面をオフにします。

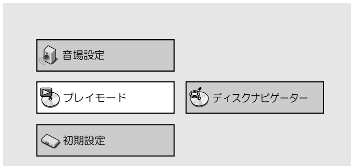


1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

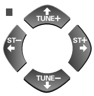


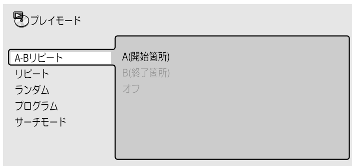
2. [プレイモード]を選んでから、決定ボタンを押します





3. 項目を選択します





- **A-B リピート(53 ページ)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(53 ～ 54 ページ)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(55 ページ)**
  タイトルやチャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(56 ～ 58 ページ)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(59 ～ 60 ページ)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

選んだ項目についての操作方法は、それぞれのページを参照して操作してください。

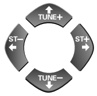
Q&A

Q ：設定画面が表示できない

→ ビデオCDのPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC 再生を解除してください。

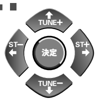
指定した箇所を繰り返し再生する(A-B リピート再生)

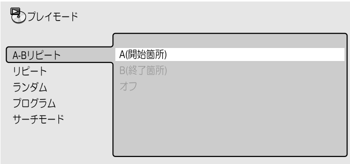
1. 再生中に、プレイモード画面から、[A-Bリピート]を選択します



52 ページを参照してください。

2. A-B リピートを開始したい箇所で、[A(開始箇所)]を選んでから、決定ボタンを押します





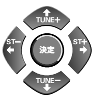
3. A-B リピートを終了したい箇所で、[B(終了箇所)]を選択して決定します



- B(終了箇所)は、A(開始箇所)から 2 秒以上経過した箇所を指定してください。2秒以下の箇所を指定すると、自動的にAとBの間隔が 2 秒になります。
- A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには・・・

[オフ]を選択して決定します



A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

注 意

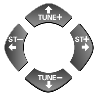
◆ MP3 は A-B リピート再生ができません。

DVD を繰り返し再生する(リピート再生)

DVDのタイトル/チャプター(場面)を繰り返し再生します。

1. 繰り返したいタイトル / チャプター(場面)を再生します

2. プレイモード画面から、[リピート]を選択します

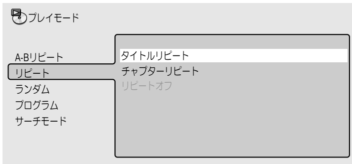


52 ページを参照してください。

3. リピート再生の種類を選択して決定します



- リピート再生を開始します。



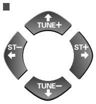
- タイトルリピート
  現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。
- チャプターリピート
  現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- リピートオフ
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

ビデオCD、CD、MP3を繰り返し再生する（リピート再生）

ビデオCD/CDのトラック(曲)、MP3のフォルダー / トラック(曲)を繰り返し再生します。

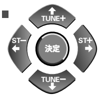
1. 繰り返したい曲を再生します

2. 再生中に、*プレイモード画面*から、[リピート]を選択します



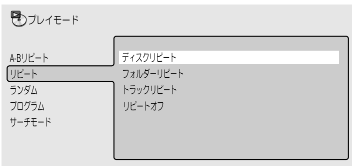
52ページを参照してください。

3. リピート再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します



リピート再生を開始します。

MP3のリピート画面



- ディスクリピート
  - 現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- フォルダーリピート(MP3のみ)
  - 現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- トラックリピート
  - MP3では、現在再生中のフォルダー内のトラックを繰り返し再生します。
  - ビデオCD CD(-R/-RW)では、現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- リピートオフ
  通常の再生に戻ります(リピート再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

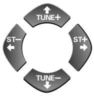
注意

- ◆ DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。
- ◆ ビデオCDのPBC再生時にはリピート再生はできません。リピート再生をするには、ディスクの停止中に繰り返したいトラック番号を数字ボタンで入力し、それからリピートボタンを押します。
- ◆ リピート再生中にアングルを切りかえる(51ページ)と、リピート再生は解除されます。

DVDを順不同に再生する（ランダム再生）

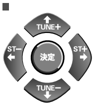
DVDのタイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

1. **プレイモード画面から、[ランダム]を選択します**

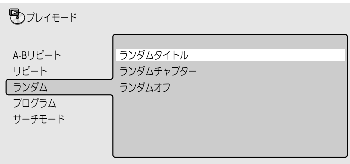


52ページを参照してください。

2. **ランダム再生の種類を選んでから、決定ボタンを押します**



- ランダム再生を開始します。
- 本体表示窓に**[RDM]**と点灯します。



- ランダムタイトル
  タイトルを順不同に再生します。
- ランダムチャプター
  現在再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
- ランダムオフ
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中にクリアボタンを押しても通常の再生に戻すことができます)。

メ モ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
▼ ランダム再生中に|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。

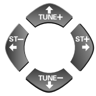
注 意

◆ DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
◆ ランダム再生を繰り返すことはできません。

ビデオCD、CD、MP3を順不同に再生する（ランダム再生）

ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

1. **プレイモード画面から、[ランダム]を選択します**

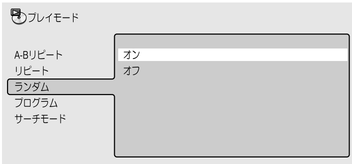


52ページを参照してください。

2. **[オン]を選んでから、決定ボタンを押します**



ランダム再生を開始します。



- **オン**
  - MP3 では、現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
  - ビデオCD CD(-R/-RW)では、トラックを順不同に再生します。
- **オフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

聞きたい曲を好きな順番で聞く(プログラム再生)

24 ステップまでプログラム登録をすることができます。

DVD のタイトルやチャプターの順番を変えて再生するには

1. プレイモード画面から、「プログラム」を選択します

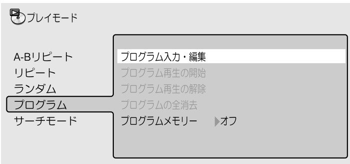


52 ページを参照してください。リモコンの**プログラムボタン**を押しても操作することができます。その場合は、手順 2 の操作は必要ありません。

2. [プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します

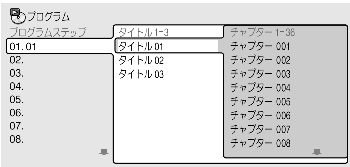


[プログラムメモリー]は DVD のときのみ選択することができます。(58 ページ)



3. プログラムしたいタイトル / チャプターを選択して決定します





- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. 手順 3 を繰り返して他のタイトル / チャプターをプログラムします

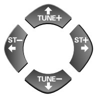
5. ► ボタンを押します



- プログラムした順に再生を開始します。

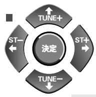
CD、ビデオ CD、MP3 のトラックやフォルダーの順番を変えて再生するには

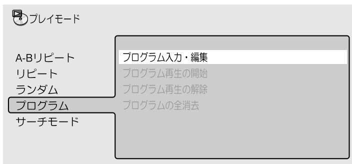
1. プレイモード画面から、[プログラム]を選択します



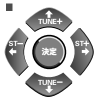
52 ページを参照してください。

2. [プログラム入力・編集]を選んでから、決定ボタンを押します





3. プログラムしたいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します



ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。

- MP3 では、フォルダーとトラックを選択します。
- ビデオCD CD(-R/-RW) では、トラックのみを選択します。

- プログラム入力中に戻るボタンを押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

4. **手順 3 を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムします**

5. **► ボタンを押します**

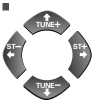


- プログラムした順に再生を開始します。
- 本体表示窓に**[PGM]**と点灯します。

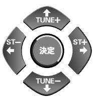
ステップの間にプログラムを追加するには･･･

例) ステップ 0 2 の前にタイトル 1 のチャプター 7 を追加する場合

1. **カーソルをステップ 02 に合わせます**



2. **タイトル 1 のチャプター 7 を選んでから、決定ボタンを押します**

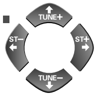


ステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとステップ02にあったプログラムは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには･･･

例) ステップ 02 のプログラムを削除する場合

1. **カーソルをステップ 02 に合わせます**

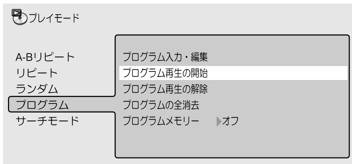


2. **クリアボタンを押します**



ステップ02のプログラムが削除され､その後ろにあったプログラムが 1 つ前に繰り上がります。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去するには･･･

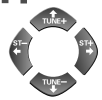


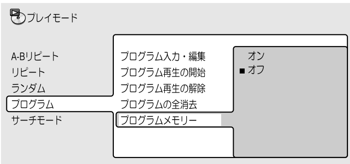
- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

DVDにてプログラムした内容を記憶するには･･･（プログラムメモリー）

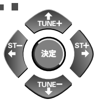
DVDディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶するように設定します。プログラムメモリーしたディスクをセットすると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

1. **[プログラムメモリー]を選択して、カーソルを 右へ移動します**





2. **[オン]を選んでから、決定ボタンを押します**



プログラムメモリーを解除するときは、**[オフ]**を選択んでから決定ボタンを押します。

メ モ

▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の[リピート]から[プログラムリピート]を選択します(53ページ)。

▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。

▼ プログラム再生中に►►I を押すと、次のプログラムステップのタイトル/チャプターを再生します。

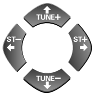
注 意

◆ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル/チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。

見たい場面を探す (サーチモード)

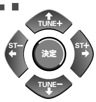
DVD の見たい場面を探すには

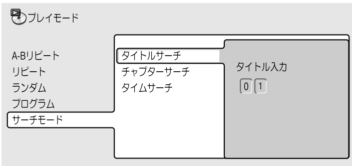
1. *プレイモード画面から、[サーチモード]を選択します*



52 ページを参照してください。

2. サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します





- **タイトルサーチ**
  タイトルを指定して再生する。
- **チャプターサーチ**
  チャプターを指定して再生する。
- **タイムサーチ**
  時間を指定して再生する。

3. 数字(0～9)ボタンで再生したいタイトル、チャプター、または時間を入力します

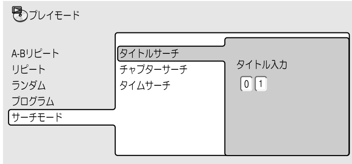


指定したタイトル、チャプター、または時間から再生を開始します。

4. 決定ボタンを押します

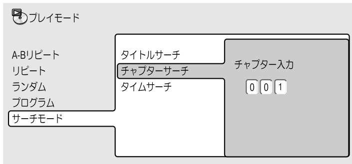


タイトルサーチを選択したとき･･･



例えば、タイトル 3 を再生するには、3 を押してから決定ボタンを押します。

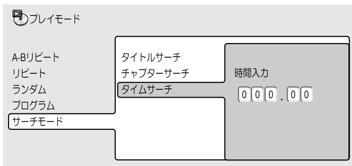
チャプターサーチを選択したとき･･･



例えば、チャプター 12 を選ぶには、1, 2 を押してから決定ボタンを押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

再生中だけの操作となります。

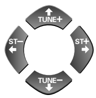


例えば、
- 21 分 43 秒を選ぶには、2, 1, 4, 3 を押して決定ボタンを押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0 を押して決定ボタンを押します。

見たい場面を探す(サーチモード)

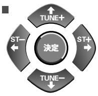
CD、ビデオ CD、MP3 の再生したい曲を探すには

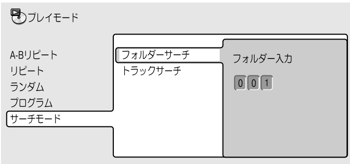
1. *プレイモード画面から、[サーチモード]を選択します*



52 ページを参照してください。

2. サーチモードの種類を選んでから、決定ボタンを押します





- **フォルダーサーチ(MP3 のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **タイムサーチ(ビデオCD のみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。

3. 数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいフォルダー/トラック、または時間を入力します



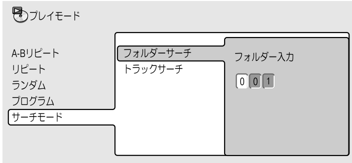
指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

4. 決定ボタンを押します



フォルダーサーチを選択したとき･･･

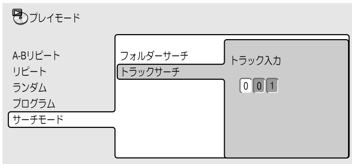
MP3 だけの機能となります。



例えば、フォルダー 3 を再生するには、3 を押してから決定ボタンを押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

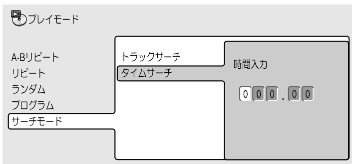
MP3 のトラックサーチ画面



例えば、トラック 12 を選ぶには、1, 2 を押してから決定ボタンを押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

ビデオ CD だけの機能となります。



例えば、

・ 21 分 43 秒を選ぶには、2, 1, 4, 3 を押して決定ボタンを押します。
・ 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、6, 4, 0, 0 を押して決定ボタンを押します。

Q&A

Q ：タイムサーチができない

→ MP3、またはCD(CD-R/RW)ではタイムサーチができません。

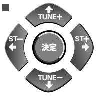
ディスクナビゲーターを使って再生する

見たいタイトルやチャプターを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

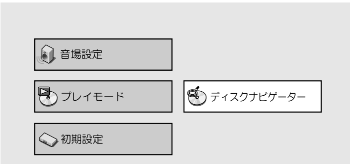
DVD を再生するには

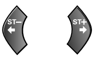
1. 

DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

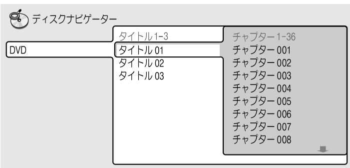
2. 

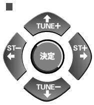
[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します



3. 

カーソルをタイトル、またはチャプターに移動します



4. 

再生したいタイトル、またはチャプターを選んでから、決定ボタンを押します

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

注 意

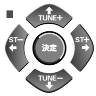
◆ DVD のタイトルによっては、選択できない項目があります。

CD、ビデオ CD、MP3 を再生するには

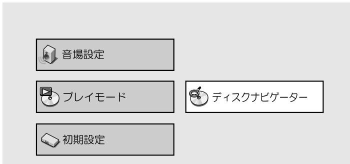
1. 

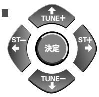
DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2. 

[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

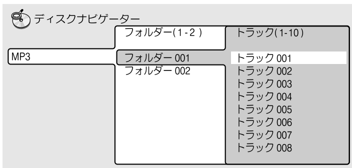


3. 

再生したいフォルダー / トラックを選んでから、決定ボタンを押します

再生を開始します。

MP3 のディスクナビゲーター画面



17 番目以降のフォルダーでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名「T_035」のように表示されることがあります。また、ディスクナビゲーター画面を終了するときは、DVD 設定ボタンを押します。

Q&A

Q ：設定ができない

→ ビデオ CD の PBC 再生中は設定をすることができません。PBC 再生を解除してください。

ディスクの情報を見る

応用編 ディスクを使う

テレビ画面にて、DVD のディスクの情報を見るには

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

例)

再生	► DVD				チャプターリピート
タイトル	現在/総数 1/3	経過時間 0.12	残り時間 138.47	総時間 138.59	
音声 1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH		字幕 2. 日本語			アングル 1

2 回押すと･･･

現在再生中のチャプターの情報と転送レートが表示されます。

例)

再生	► DVD				チャプターリピート
チャプター	現在/総数 1/36	経過時間 0.15	残り時間 1.53	総時間 2.08	
転送レート	▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮		8.1Mbps		

3 回押すと･･･

表示が消えます。

テレビ画面にて、CD、ビデオ CD、MP3 の情報を見るには

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1 回押すと･･･

- MP3 CD(-R/-RW) では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- ビデオCD では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のトラックの情報画面

再 生 ► MP3				
トラック	現在/総数 1/17	経過時間 0:06	残り時間 3:26	総時間 3:32
トラック名	YESTERDAY			

2 回押すと･･･

- MP3 では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。
- ビデオCD では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(-R/-RW) では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。

例) MP3 のフォルダーの情報画面

再 生 ► MP3	
フォルダー	現在/総数 1/17
フォルダー名	MUSIC BOX

3 回押すと･･･

表示が消えます。

? Q&A

Q1 : 時間情報などが表示されない

→ ファイナライズしていない CD-R/RW ディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。

→ ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください。

本体表示部にて、DVD の情報を見るには

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
タイトルの残り時間
↓
チャプターの残り時間

本体表示部にて、CD の情報を見るには

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
再生中の曲の残り時間
↓
ディスクの残り時間

本体表示部にて、ビデオ CD の情報を見るには

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
ディスクの残り時間
↓
再生中の曲の残り時間

本体表示部にて、MP3 の情報を見るには

画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

押すごとに、以下のように切りかわります。

再生経過時間
↓
曲名（トラックネーム）
↓
フォルダー名
(フォルダーネーム)

注 意

◆ ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください。

注 意

◆ REC THIS ボタンにて、いま聞いている曲の録音（37 ページ）中は、MP3 の情報を見ることはできません。

ＭＤ応用編

ＭＤを順不同に再生する（ランダム再生）

すべての曲から順不同に選んで、各曲を１回ずつ再生します。



ランダムボタンを押します

ランダム再生を開始します。
RDM と点灯します。
すべての曲の再生を終了すると、自動的に停止します。



ランダム再生をやめるには....

■ボタンを押します。

メ モ

▼ ランダム再生中に▶▶|ボタンを押すと、別の曲を順不同に選んで再生します。
▼ ランダム再生中に全曲リピート再生を選択すると、ランダム再生を繰り返し再生します。**（ランダムリピート再生）**

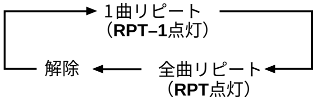
ＭＤを繰り返し再生する（リピート再生）

再生している１曲だけを繰り返す１曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートとがあります。



リピートボタンを押します

押すごとに、以下の様に切り替わります。





リピート再生をやめるには....

■ボタンを押します。

メ モ

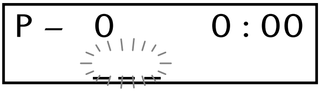
▼ １曲リピート中に|◀◀ ▶▶|ボタンを操作して別の曲に移ったときは、その曲を繰り返し再生します。
▼ ランダム再生中またはプログラム再生中は、１曲リピートは選択できません。

ＭＤの聞きたい曲を好きな順番で聞く（プログラム再生）

聞きたい曲を最大 30 曲まで、好きな順番に登録することができます。

1. MD が停止中に、プログラムボタンを押します



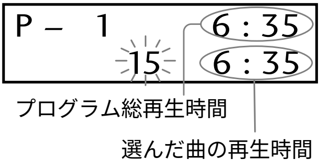


2. 聞きたい曲の番号の文字 / 数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します





15 曲目を選んだときは、文字 / 数字ボタンの 1 と 5 を押してから、決定ボタンを押します。



3. 手順 2 を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録します

4. ► ボタンを押します



プログラムした順に再生を開始します。

登録を間違えたとき

MD が停止中にクリアボタンを押します



押すごとに最後に登録した曲から順に消えていきます。

プログラム登録した内容を確認する

プログラム再生中に■ボタンを押して再生を停止させてから、⏮ または⏭ ボタンを押します。

プログラム登録した内容をすべて消す

次のいずれかの操作をしたときに消去されます

- MD 停止中に■ボタンを 2 回押したとき
- MD 取り出し(⏏)ボタンを押して、MD を取り出したとき
- 電源をオフにしたとき
- プログラム再生中にランダムボタンを押したとき

メ モ

▼ プログラム再生中に、⏮ ⏭ ボタンを押すと、プログラムされた前後の曲に移ります。

▼ プログラム再生中に全曲リピート再生(64 ページ参照) を選択すると、プログラムした内容を繰り返し再生します。**(プログラムリピート再生)**

注 意

◆ プログラムのトータル時間が、512'00"以上の場合は、プログラムのトータル時間は表示されません。

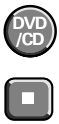
CDやMP3の好きな曲だけをMDへ自動録音する

CDやMP3の曲を最大24曲まで、好きな順番でMDへ録音することができます。

1. 録音用MDをセットします

2. 録音もとのCDまたはMP3ディスクをセットします

3. DVD/CDボタンを押して再生を開始してから、■ボタンを押します



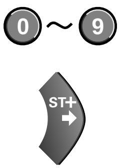
4. プログラムボタンを押します



PGM00

CDでは、プログラム総再生時間を表示します。

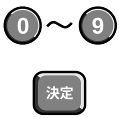
5. MP3では、録音したい曲のフォルダー番号の文字/数字ボタンを押してから、⇨を押します



フォルダー7を選んだときは、文字/数字ボタンの7を押してから、⇨を押します。

PGM01　　7:－－－

6. 録音したい曲の番号の文字/数字ボタンを押してから、決定ボタンを押します



15曲目を選んだときは、文字/数字ボタンの1と5を押してから、決定ボタンを押します。

MP3のフォルダー7の15曲目を入力した例

PGM01　　7: 15

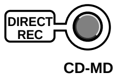
CDの15曲目を入力した例

PGM01　　15

7. 手順5と6を繰り返して、録音したい曲のフォルダーや曲番号を登録します

CDのときは、手順6だけを繰り返します。

8. 本体のCD-MDダイレクト録音ボタンを押します



録音が開始されます。
録音が終了すると自動的に停止します。

録音を途中で止めたいときは

録音/停止ボタンを押します



■ボタンを押しても、同様に操作することができます。

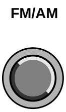
メモ

- ▼ プログラム登録については、50ページも合わせてご覧ください。
- ▼ この方法で録音するときに、LP4またはLP2モード（38ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
- ▼ 手順5で⇨の代わりに決定ボタンを押すと、選んだフォルダーごと選ぶことができます。

ラジオ放送を MD へ録音する

MD にラジオ放送を録音します。

1. **録音用 MD をセットします**

2. 

FM/AM ボタンを押してから、録音したい放送局を受信します

3. 

録音 / 停止ボタンを押します

録音が開始されます。

録音を途中で止めたいときは



録音 / 停止ボタンを押します

メ モ

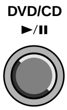
▼ この方法で録音するときに、LP4 またはLP2モード（38ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ ラジオ放送を録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。
▼ ラジオ放送を録音する場合は、ひとつづきの録音になります。

ディスクの好きな部分をMDへ録音する

本機にて再生できるディスクを、MD へ録音することができます。DVD やビデオ CD から録音する場合は、このマニュアル操作によるアナログ録音だけとなります。

1. **録音用 MD をセットします**

2. **録音したいディスクを、本機にセットします**

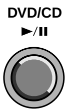
3. 

DVD/CD ボタンを押して再生を開始し、録音したい部分の頭で、もう一度 DVD/CD ボタンを押して一時停止させます

4. 

録音 / 停止ボタンを押します

録音が開始されます。

5. 

DVD/CD ボタンを押して再生を開始します

録音を途中で止めたいときは



録音 / 停止ボタンを押します

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 またはLP2モード（38ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。
▼ DVD やビデオ CD から録音する場合は、自動的にアナログ録音となります。

デジタル録音レベルを調整する

デジタル録音の場合、通常はデジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、本機ではCDからのデジタル録音時に調整することができます。
例えば、複数のCDから1枚のMDに録音する場合に、ディスク間の音量レベルをあわせるときに調整します。

1. 録音用MDをセットします

本機にMDがセットされていないと、デジタル録音レベルを調整することはできません。

2. DVD/CDボタンを押して、CDの再生を開始します



あらかじめ録音したい曲の準備をしておきます。

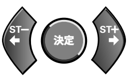
3. 122ページを参照して、デジタル録音に切りかえます

お買い上げ時は、デジタル録音に設定されていますので、操作は必要ありません。

4. システムメニューボタンを押します

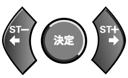


5. ⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します



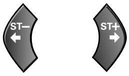
MD MENU

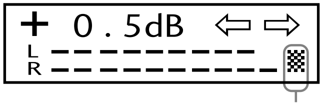
6. ⇦ ⇨ で"D.VOL"を選んでから、決定ボタンを押します



D.VOL

7. ⇦ ⇨ を押して、デジタル録音レベルを調整します





この部分（12番目）のレベルが点灯しないように調整します。

8. 決定ボタンを押します



メモ

- ▼ 調整範囲は、MIN(∞) ～ +18dBの範囲内です。0dBが初期値となります。
- ▼ 音量レベルが初期値である0dB以外に調整されると、表示部に D.VOL が点灯します。

ＭＤの編集機能について

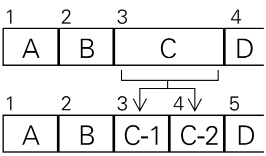
曲順を変えたり、１曲を２曲に分けるなどの編集をして、自分だけのオリジナルディスクづくりができます。ただし、誤消去防止つまみが開いたＭＤ（120ページ参照）では編集機能は使うことはできません。編集機能を使用する場合は誤消去防止つまみを閉じてください。
編集機能には次のようなものがあります。

ディスクや曲、グループに名前を付ける（ネーム機能）－ 70～71ページ

録音した曲に曲名、録音したディスクにディスク名、登録したグループにグループ名を付けることができます。
ディスクに名前を付ける機能をディスクネーム機能、曲に名前を付ける機能をトラックネーム機能、グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
カタカナ、アルファベット（A～Z、a～z）数字、記号を使用できます。
曲名は１曲につき、100文字まで入力できます。ディスク名と曲名、グループ名を合わせて、１枚のディスクに約1700文字まで入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

１つの曲を２つの曲に分ける（デバイド機能）－ 74ページ

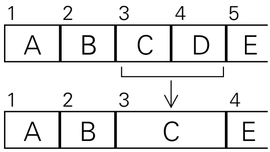
１曲を途中から２つの曲に分けます。分けた曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。



Cを２つに分けて新しくC-1、C-2の２曲にした例

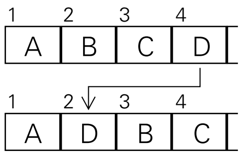
連続している２つの曲をつないで１つの曲にする（コンバイン機能）－ 75ページ

C、Dの２曲を１曲にして新しくCとします。つないだ曲以降の曲番は、自動的に付けかえられます。



曲を移動する(ムーブ機能)－ 76ページ

ある曲を好きな位置に移動して曲順をかえることができます。並べ変えた後の曲番は自動的に付けかえられます。



４曲目のＤを２曲目に移動する例

１曲だけ消す（トラックイレース機能）－ 77ページ

消したい曲を指定するだけで、１曲をまるごと消すことができます。消した曲は曲名ごと消えます。また、消した曲以降の曲番は自動的に付けかえられます。

ディスクの全曲を消す（オールイレース機能）－ 78ページ

一度にディスク中の全曲を消すことができます。この場合は、ディスク名も消えます。

ディスクや曲、グループに名前をつける（ネーム機能）

ディスクに名前をつけるには

1. **MDボタンを押してから、■ボタンを押します**

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**

MD MENU

4. **⇦ ⇨ で" DISC NAME"を選んでから、決定ボタンを押します**

DISC NAME

5. **文字を入力して、ディスクに名前をつけます**

文字の入力は、72～73ページを参照してください。
入力できる文字数については、69ページを参照してください。

6. **システムメニューボタンを押して終了します**

途中で文字の入力を止める場合は、■ボタンを押します。

曲に名前をつけるには

1. **|◀◀ ▶▶| ボタンで名前をつけたい曲を選びます**

再生中または録音中でも名前をつけることができます。

2. **システムメニューボタンを押します**

3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**

MD MENU

4. **⇦ ⇨ で" TRACK NAME"を選んでから、決定ボタンを押します**

TRACK NAME

5. **文字を入力して、曲に名前をつけます**

文字の入力は、72～73ページを参照してください。
入力できる文字数については、69ページを参照してください。

6. **システムメニューボタンを押して終了します**

途中で文字の入力を止める場合は、■ボタンを押します。

グループに名前をつけるには

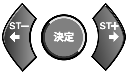
1. 

■ボタンを押してから、84ページを参照して名前をつけたいグループを選びます

ただし、再生中または録音中に名前をつけることはできません。

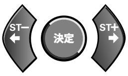
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

⇦⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MD MENU

4. 

⇦⇨ で" GROUP NAME" を選んでから、決定ボタンを押します

GROUP NAME

5.

文字を入力して、グループに名前をつけます

文字の入力は、72～73ページを参照します。
入力できる文字数については、69ページを参照してください。

6. 

システムメニューボタンを押して終了します

途中で文字の入力を止める場合は、■ボタンを押します。

メ モ

▼ 再生中または録音中、曲に名前を入力している途中で次の曲になってしまったときは、そのときまで入力した文字は有効です。再生または録音が終ってからつづきを入力してください。

注 意

◆ 誤消去防止つまみが開いているMDには、ディスクや曲、グループに名前をつけることはできません。

ネーム機能で入力できる文字の種類

アルファベット（大文字）：

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ.,'/
□（空白）

アルファベット（小文字）：

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz.,'/
□（空白）

数字、記号：

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! ” # $ % & ’ ( )
* + , − . / : ; < = > ? @ _ ` □（空白）

カタカナ：

アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワヲンァィゥェォャュョッ゛゜ー□
（空白）

文字を入力する

文字が入力できるモードのときに操作します。

リモコンでの入力のしかた

文字入力を終了する場合は、システムメニューボタンを押します。

1. **入力する文字が表記されている文字 / 数字ボタンを押します**

例えば、大文字アルファベットが設定されているときに ハ MNO 6 を押すと、押すごとに M → N → O →と切りかわります。

入力できる文字の種類



ＭＤ のディスクネームにて、"N" を入力したときの例

システム表示/文字

文字の種類をかえる場合はシステム表示 / 文字ボタンを押します

→ A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] →

2. **決定ボタンを押して決定します**

決定

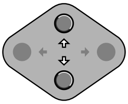
次に入力する文字の文字/数字ボタンが、いま押した文字 / 数字ボタンと違う場合は、この操作は必要ありません。

ボタン ＼ 文字の種類	アルファベット（大文字）	アルファベット（小文字）	数　字	カタカナ
ア 1	―――	―――	1	ア イ ウ エ オ ァ ィ ゥ ェ ォ
カ ABC 2	A B C	a b c	2	カ キ ク ケ コ
サ DEF 3	D E F	d e f	3	サ シ ス セ ソ
タ GHI 4	G H I	g h i	4	タ チ ツ テ ト ッ
ナ JKL 5	J K L	j k l	5	ナ ニ ヌ ネ ノ
ハ MNO 6	M N O	m n o	6	ハ ヒ フ ヘ ホ
マ PQRS 7	P Q R S	p q r s	7	マ ミ ム メ モ
ヤ TUV 8	T U V	t u v	8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ
ラ WXYZ 9	W X Y Z	w x y z	9	ラ リ ル レ ロ
ワヲン 記号 0	空白（スペース） . , ’ /	空白（スペース） . , ’ /	0 空白（スペース） ! " # $ % & ’ ( ) * + , – . / : ; < = > ? @ _ `	ワ ヲ ン ゛ ゜ ー 空白（スペース）

本体での入力のしかた

文字入力を終了する場合は、システムメニューボタンを押します。

1. **⇧⇩ を押して、入力する文字を選びます**





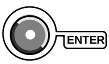
ＭＤのディスクネームにて、"N" を入力したときの例



文字の種類をかえる場合はシステム表示 / 文字ボタンを押します

A-Z（大文字）[A] → a-z（小文字）[a] → 数字、記号 [0] → カタカナ [ア] → A-Z（大文字）[A]

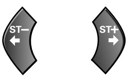
2. **決定ボタンを押して決定します**



手順１と２ を繰り返して、すべての文字を入力します

文字を挿入するには

1. **文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を挿入する文字位置まで移動させます**



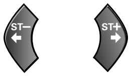
2. **挿入する文字を入力します**

3. **決定ボタンを押します**



文字を削除するには

1. **文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を削除する文字位置まで移動させます**



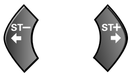
2. **クリアボタンを押します**



文字が削除されます。

文字を変更するには

1. **文字入力中に ⇦ ⇨ を押して、点滅を変更する文字位置まで移動させます**



2. **新しく文字を入力します**

3. **⇨ を押します**



曲を 2 つに分ける（デバイド機能）

録音後に 1 つの曲を 2 つに分けます。これにより、新たに頭出しのための曲番号を記録することができます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- 分けた曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。
- 分ける曲に曲名がついていた場合は、前の曲に名前がつきます。

例）　3 曲目を 2 つに分ける場合

1.



再生中に曲を分ける位置で MD ボタンを押します

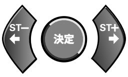
再生が一時停止します。

2.



システムメニューボタンを押します

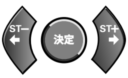
3.



⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

MD　MENU

4.



⇦ ⇨ で "DIVIDE" を選んでから、決定ボタンを押します

DIVIDE

TRACK　　3?

5.



もう一度、決定ボタンを押します

TRACK　　3

デバイド機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。
▼ 1 枚の MD で最大 254 曲まで曲を分けることができますが、MD の状態によってはそれ以下になる場合もあります。（123 ページ）

注 意

◆ 次の場合はデバイドの操作はできません。
・プログラム再生が設定されているとき（65 ページ）
・ランダム再生が設定されているとき（64 ページ）
◆ LP4モードで長時間録音した曲を分けると、分けた部分でノイズが発生する場合があります。

連続している２つの曲をつなぐ（コンバイン機能）

連続したとなり同士の曲をつないで、１曲にまとめます。
この編集をすると、以下のようにディスクの内容が変更されます。

- つなぐ曲以降の曲番は自動的に新しい曲番に変更されます。
- つなぐ曲に曲名がついている場合は、前の曲の曲名がつきます。

例） 4 曲目と 5 曲目をつなぐ場合

1. つなぐ曲の曲番号が大きい曲の再生中に、MD ボタンを押します

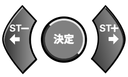


再生が一時停止します。
例の場合は、5 曲目で再生一時停止させます。
MD 停止中に ⏮ ⏭ ボタンで曲番号を選んでから操作することもできます。

2. システムメニューボタンを押します

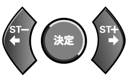


3. ⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します



MD MENU

4. ⇦ ⇨ で "COMBINE" を選んでから、決定ボタンを押します



COMBINE

5. もう一度、決定ボタンを押します

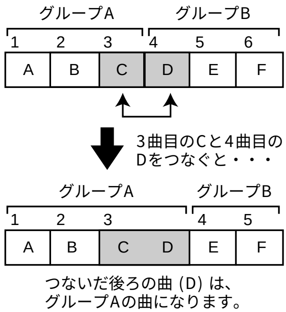


TRK 4+ 5?

コンバイン機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。
▼ 離れた曲をつなぎたいときは、ムーブ機能（76ページ参照）で曲を連続させてからコンバイン機能でつないでください。
▼ グループ登録されているディスクで、グループをまたいで曲をつないだ場合、つないだ後ろの曲は前の曲のグループに登録されます。



注 意

◆ デジタル録音した曲と、アナログ録音した曲はつなぐことができません。
◆ 違う録音モードで録音した曲同士は、つなぐことができません。
◆ 各録音モードで、ある一定の秒数以下の短い曲は、つながらないことがあります。
・通常のステレオ録音 .... 8 秒以下
・モノラル録音または LP2 録音 ... 16 秒以下
・LP4 録音 .... 32 秒以下
◆ 次の場合、コンバインの操作はできません。
・プログラム再生が設定されているとき（65 ページ）
・ランダム再生が設定されているとき（64 ページ）

曲を移動する（ムーブ機能）

あるひとつの曲を好きな位置に移動して、曲順をかえることができます。

例）　8 曲目を 6 曲目に移動する場合

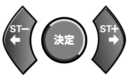
1. 

移動したい曲が再生中に、MD ボタンを押します

再生が一時停止します。
例の場合は、8 曲目を再生中に MD ボタンを押して再生一時停止にします。
MD 停止中に |◀◀ ▶▶| ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

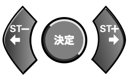
2. 

システムメニューボタンを押します

3. 

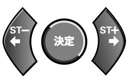
⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します

MD　MENU

4. 

⇦ ⇨ で "MOVE" を選んでから、決定ボタンを押します

MOVE

5. 

⇦ ⇨ で移動先の曲番号を選んでから、決定ボタンを押します

例の場合は、6 を選びます。

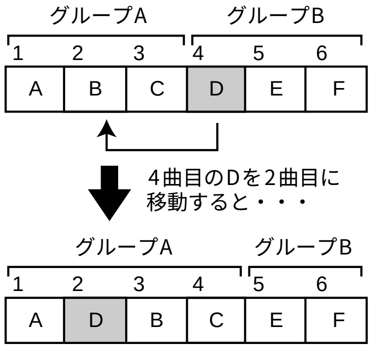
TRK　　8⇨　6?

ムーブ機能を実行します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

▼ グループ登録しているディスクの場合、移動した曲は移動先の曲のグループとなります。例えば、グループBに登録されている曲をグループAの範囲の曲番号に移動すると、その曲はグループ A の曲になります。



Dはグループ Aの曲になります。

注 意

◆ 次の場合、ムーブの操作はできません。
- ・プログラム再生が設定されているとき（65 ページ）
- ・ランダム再生が設定されているとき（64 ページ）

1 曲だけ消す （トラックイレース機能）

選択したひとつの曲とその曲の名前を消します。消した曲以降の曲番号は、自動的に新しい曲番号に変更されます。

例）　6 曲目を消去する場合

1. **消したい曲の再生中に、MD ボタンを押します**



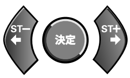
再生が一時停止します。
MD 停止中に |◀◀ ▶▶| ボタンで移動したい曲の曲番号を選んでから操作することもできます。

6　　0 : 02

2. **システムメニューボタンを押します**

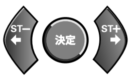


3. **⇦ ⇨ で "MD MENU" を選んでから、決定ボタンを押します**



MD　MENU

4. **⇦ ⇨ で "TRACK ERASE " を選んでから、決定ボタンを押します**



TRACK　ERASE

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



TRACK　　6?

選んだ曲を消します。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

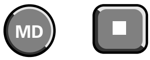
注 意

◆ 次の場合、トラックイレースの操作はできません。
- プログラム再生が設定されているとき（65 ページ）
- ランダム再生が設定されているとき（64 ページ）

全曲を消す（オールイレース機能）

ディスクの全曲を消します。
ディスク名や曲名、グループ名も、すべて消えてしまいます。

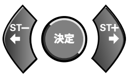
1. **MD ボタンを押し、■ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

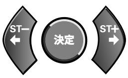


3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**



MD　MENU

4. **⇦ ⇨ で"ALL ERASE "を選んでから、決定ボタンを押します**



ALL　ERASE

5. **もう一度、決定ボタンを押します**



OK?

すべての曲とディスクネームが消えます。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メモ

▼ 作業を途中で中止する場合は、システムメニューボタンを押します。

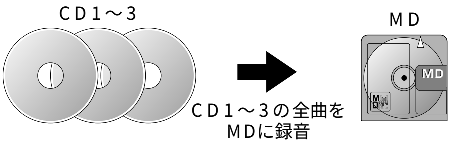
注 意

◆ 次の場合はオールイレースの操作はできません。
・プログラム再生が設定されているとき（65 ページ）
・ランダム再生が設定されているとき（64 ページ）

ＭＤのグループ機能について

グループ機能とは

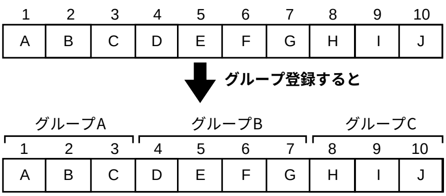
長時間録音モード（LP2またはLP4モード）で録音すると、複数のCDを１枚のMDに録音できたり、100曲以上録音できたりして便利です。



しかし・・・
「録音した３枚目のCDはMDの何曲目からなの？」というように曲を見つけるのが大変です。
そこで・・・
本機では、MDに収録されている曲をグループ機能を使って簡単に操作できます。

グループディスクを作成する（グループ登録）－ 81ページ

● グループを登録する
MDディスクに収録されている複数の曲をグループとして登録したディスク（グループディスク）を作成します。なお、本機でMD1枚に登録できるグループ数は、最大99個です。

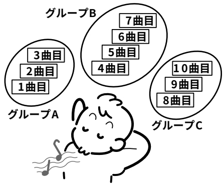


一度グループ登録したあとでも、以下の編集ができます。

- グループを変更する（82ページ）
- 登録したグループを一部解除する（83ページ）
- 登録したグループをすべて解除する（83ページ）

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）－ 84ページ

指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。



グループA ➡ グループB ➡ グループC の先頭曲（1曲目 ➡ 4曲目 ➡ 8曲目）というように、各グループの先頭曲の頭出しが簡単に行えます。

選択したグループだけ再生するよう設定する（グループ再生機能）－85ページ

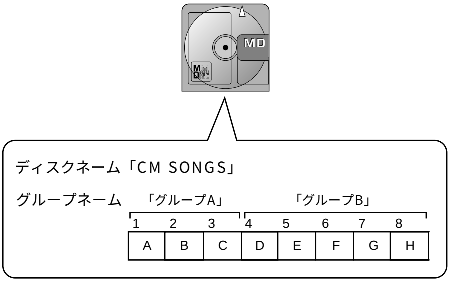
グループ登録されているMDにおいて、ディスク全体の再生を行なうオールトラックプレイモードと、選択したグループの再生だけを行なうグループプレイモードとに切りかえることができます。

グループに名前を付ける（グループネーム機能）－ 71ページ

登録したグループにグループ名を付けることができます。
グループに名前を付ける機能をグループネーム機能といいます。
入力できる文字の種類は、69ページを参照してください。最大文字数は、1枚のディスクには約1700文字まで（ディスク名、曲名、グループ名を合わせて）入力することができます。
（ただしカタカナを入力すると、入力できる文字数は半分以下となります。）

グループ登録した MD ディスクについて

グループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。
本機でグループ編集したMDディスクは、ほかのグループ機能搭載機器でもグループ編集ができます。



上図のようなグループ登録したMDディスクのグループ情報は、実際はディスクネームの情報を格納する場所に書かれています。
そのため、グループ機能を搭載していない機器でディスクネームを表示させると、以下のまま表示されますが故障ではありません。

0; CM SONGS ／／ 1 − 3; グループ A ／／ 4 − 8; グループ B

グループディスクをグループ機能を搭載していない機器で編集を行った場合

グループ登録したグループディスクを、グループ機能を搭載してない機器で編集しないでください。
例えば、ムーブ機能やトラックイレース機能の編集を行うと、グループとして登録していた曲番号が編集前と異なってしまいます。

本機のグループ機能の制限

パイオニア製以外の機器でグループ登録されたMDディスクのなかには、グループネームはあるのに、曲番号の範囲が無いグループもあります。その場合、本機ではグループとして認識されません。これらのグループは以下の編集をすると消去されますのでご注意ください。

- MDの編集（74 〜 78 ページの操作）
- グループの登録、変更、解除（81〜83ページの操作）

グループディスクを作成する（グループ登録）

MDに収録されている複数の曲をグループ登録します。ただしグループ登録は、曲番号が１～３のように連続している曲でしか行なうことはできません。
曲番号が離れている場合は、ムーブ機能（76ページ参照）を使用して、あらかじめ連続した曲番号になるようにしておきます。
１枚のMDディスクに登録できるグループは、最大で99個です。

グループを登録する

例）12～15曲目を新しいグループに設定します。

1. MDボタンを押し、停止(■)ボタンを押します

MD ■

2. システムメニューボタンを押します

システムメニュー

3. ⇦⇨で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST+

MD MENU

4. ⇦⇨で"NEW GROUP"を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST+

NEW GROUP

5. ⇦⇨でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST+

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12－ 1？

6. ⇦⇨でグループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します

ST− 決定 ST+

文字/数字ボタンでダイレクトに曲を選ぶこともできます。

TRK 12－ 15？

12～15曲目が新しいグループに登録されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼「CDの全曲をまるごと録音しましょう」（36ページ参照）の手順で録音すると、CD一枚ごとに自動でグループ登録されます。

注 意

- ◆ 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、1～3曲目をグループAに3～5曲目をグループBにというように3曲目を2つのグループに登録することはできません。
- ◆ 曲を飛び越えてグループ登録することはできません。例えば1、3、5曲目というような飛び飛びの曲番号を1つのグループとして登録することはできません。
- ◆ すでに登録されているグループと登録しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合、登録することはできません。
- ◆ 本機でグループ登録したMDディスクでも、グループ機能のないMDプレーヤーではグループ再生をすることはできません。またその場合、ディスクネームに入力していない文字列が表示されます。これは、グループ登録した情報をディスクネームで管理しているためで、MDプレーヤーの故障ではありません。
- ◆ グループプレイ（85ページ）が設定されいるときは、グループ登録をすることはできません。

グループディスクを変更する

グループを変更する

例）12～15曲目のグループを10～13曲目に変更します。

1.



MDの停止中にグループサーチボタンを押して変更するグループの先頭曲を選びます

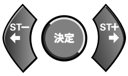
84ページを参照してください。

2.



システムメニューボタンを押します

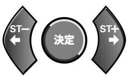
3.



⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します

MD MENU

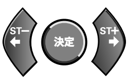
4.



⇦ ⇨ で"GROUP EDIT"を選んでから、決定ボタンを押します

GROUP EDIT

5.

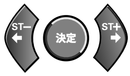


⇦ ⇨ でグループの先頭曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10– 15?

6.



⇦ ⇨ で押して、グループの最終曲を選んでから、決定ボタンを押します

リモコンの数字ボタンでダイレクトに選ぶこともできます。

TRK 10– 13?

グループ変更が実行されました。"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

メ モ

▼ 1つの曲を複数のグループに登録できません。

注 意

◆ すでに登録されているグループと､変更しようとしているグループの曲の範囲が重なる場合は、変更ができません。
◆ グループプレイモード（85ページ参照）が設定されているときは､変更することはできません。

登録したグループを解除する

1. **MDの停止中にグループサーチボタンを押して解除するグループの先頭曲を選びます**

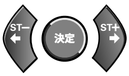


84ページを参照してください。

2. **システムメニューボタンを押します**

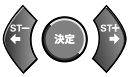


3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**




```
MD  MENU
```

4. **⇦ ⇨ で"GROUP CANCEL"を選んでから、決定ボタンを押します**




```
GROUP  CANCEL
```

5. **もう一度、決定ボタンを押します**




```
TRK    12−   15?
```

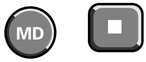
グループ解除が実行されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

注 意

◆ グループプレイ（85ページ）が設定されいるときは､グループ解除をすることはできません。

登録したグループをすべて解除する

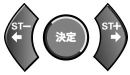
1. **MDボタンを押し、■ボタンを押します**



2. **システムメニューボタンを押します**

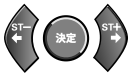


3. **⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します**




```
MD  MENU
```

4. **⇦ ⇨ で"GROUP CANCEL"を選んでから、決定ボタンを押します**




```
GROUP  CANCEL
```

5. **もう一度、決定ボタンを押します**




```
 ALL?
```

すべてのグループの解除が実行されました。
"COMPLETE"と表示されると操作終了です。

聞きたいグループを選ぶ（グループサーチ機能）

グループ登録されているＭＤの場合、指定したグループ先頭曲の頭出しを簡単にすることができます。
グループ登録されていない場合は、８１ページを参照してグループ登録をしてください。

次のグループに進むには･･･

1. **グループ登録されたMDをセットします**

2. **グループサーチボタンの＋を押します**

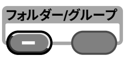


一回押すと次のグループに進み、押した回数だけグループをスキップします。
⇧でも同様に操作できます。

前のグループに戻るには･･･

1. **グループ登録されたMDをセットします**

2. **グループサーチボタンのー を押します**



一回押すと、前のグループの始めに戻ります。
⇩でも同様に操作できます。

注 意

◆ プログラム再生が設定されている場合は、グループを選ぶことはできません。
◆ ランダム再生中は、グループを選ぶことはできません。
◆ グループに名前が入力されていない場合は、"NO NAME"と表示されます。

選択したグループだけ再生するように設定する(グループ再生機能)

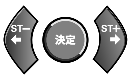
グループ登録されているMDにおいて、選択したグループだけを再生するよう、次の2つの再生モードが設定できます。

- グループプレイ
  グループサーチ機能（84ページ参照）で選択したグループ内の曲だけ再生します。
- オールトラックプレイ
  グループに関係なく、ディスク全体の再生を行ないます。

1. MDの停止中にシステムメニューボタンを押します

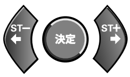


2. ⇦ ⇨ で"MD MENU"を選んでから、決定ボタンを押します



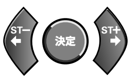
MD MENU

3. ⇦ ⇨ で"PLAY AREA"を選んでから、決定ボタンを押します



PLAY AREA

4. ⇦ ⇨ でオールトラックプレイかグループプレイかを選んでから、決定ボタンを押します



- グループプレイ

GROUP

- オールトラックプレイ

ALL

グループプレイを設定した場合は、"**GROUP**"が点灯します。

メモ

▼ お買い上げ時は、オールトラックプレイが設定されています。
▼ 再生モードがグループプレイのときに全曲リピート再生を設定すると、繰り返し再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。
▼ 再生モードがグループプレイのときにランダム再生を設定すると、無作為に再生される曲は、選択されているグループ内の全曲です。

注意

◆ グループプレイに設定されていると、MDの編集作業（74～78ページ）、グループディスクの編集/作成（81～83ページ）はできません。グループ再生の設定を解除してから操作をしてください。

MDのディスク情報を見る

停止中、本体表示部にてMDのディスク情報を見るには

システム表示/文字

停止中に、システム表示/文字ボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

応用編

- オールプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ボタンを押した状態）

ディスク名*(HIT SONGS)
ディスクの全曲数(16)/総再生時間(61'34")

```
HIT SONGS
      16    61:34
```

ディスク名*(HIT SONGS)
録音可能時間**（42'07")

```
HIT SONGS
    REC    42:07
```

- グループプレイモードで、曲番の指定がないとき（■ボタンを押した状態）

グループの先頭曲ー最終曲(24-35)
選択しているグループ内の全曲数(12)/選択しているグループの総再生時間(20'56")

```
GROUP  24– 35
     12    20:56
```

グループ名*(ALBUM BEST)
グループの先頭曲ー最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GROUP  24– 35
```

グループ名*(ALBUM BEST)
録音可能時間**（22'26")

```
ALBUM  BEST
    REC    22:26
```

- 停止中に|◀◀ ▶▶| ボタンを押すと、以下の表示になります。

曲名表示*（TOMORROW）
選んだ曲の曲番号(8)/再生時間(3'01")

```
TOMORROW
          8    3:01
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名*(ALBUM BEST)
グループの先頭曲ー最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GROUP  24– 35
```

MDを使う

再生中、本体表示部にて MD のディスク情報を見るには



再生中に、システム表示 / 文字ボタンを押します

押すごとに表示内容が切りかわります。

曲名表示 *（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の再生経過時間 (0'48")

```
TOMORROW
          8    0:48
```

曲名表示 *（TOMORROW）
再生曲の番号 (8)/ 曲の残り時間 (2'13")

```
TOMORROW
          8    2:13
```

選んだ曲がグループ登録されている場合
グループ名 * (ALBUM BEST）
グループの先頭曲ー最終曲(24-35)

```
ALBUM  BEST
GROUP  24– 35
```

メ モ

▼ 録音中にシステム表示 / 文字ボタンを押すと、表示内容が切りかわりますが、録音しているファンクションによって表示内容は異なります。

注 意

◆ 停止中の表示で曲番号を指定した場合は、その曲がグループ登録されていないと画面表示ボタンを押しても表示は切りかわりません。

* ディスク名や曲名、グループ名が入力されていない場合は、"NO NAME"と表示されます。

** 再生専用の MD の場合は表示されません。

臨場感のある立体音場を再現する（バーチャルサラウンド）

本機のような左右のフロントスピーカーだけで、臨場感のある立体音場を楽しむときに使用します。
はじめに **DVD/CD ボタン**を押してから、以下の操作をしてください。



リモコンのサラウンドボタンを押します

押すごとに、バーチャルサラウンドの[DDV/TruSurround]と、[オフ]とが切りかわります。
表示部の (●) が点灯します。

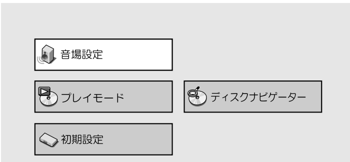
設定画面で切りかえるには

1. DVD 設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

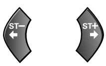


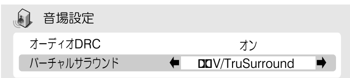
2. [音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します





3. ⇦ ⇨ で[バーチャルサラウンド]の[DDV/TruSurround]、または[オフ]を選択します





オフ
働きません(お買い上げ時の設定)。
DDV/TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

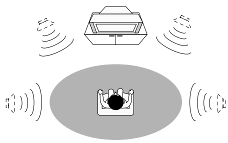
4. 決定ボタンを押します



メ モ

▼ TruSurround*とバーチャルドルビーデジタルについて
バーチャルサラウンドをオンにすると、2本のスピーカーのみで臨場感のあるサラウンド効果を楽しむことができます。特にドルビーデジタル音声を再生しているときは、SRS社のTruSurround技術によるバーチャルドルビーデジタルが働き、より広がりのある立体音場(3D サラウンド)が再現されます。
▼ バーチャルサラウンド機能は、MP3 や MD の再生音、またはラジオ放送や外部入力の音声には効果がありません。
▼ ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。
▼ バーチャルサラウンドをオンに設定していると、聞こえている効果音のままMDに録音されます。

* *TruSurround と(●)® 記号は SRS Labs,Inc. の商標です。TruSurround 技術は SRS Labs,Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。*



TruSurround™ by SRS (●)®

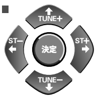
音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整する

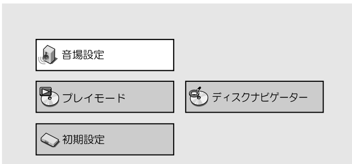
オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切りかえることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。はじめに**DVD/CDボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます

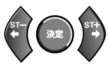


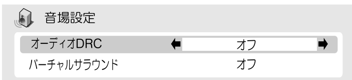
2. [音場設定]を選んでから、決定ボタンを押します





3. ⇦ ⇨ で[オーディオDRC]の圧縮率を選んでから、決定ボタンを押します





オフ
ダイナミックレンジを圧縮せずに、ソフトに収録されたまま再生します。

マックス
ダイナミックレンジを最も圧縮します。

ミディアム
ダイナミックレンジを少し圧縮します。

メモ

▼ オーディオDRCは、ドルビーデジタル音声だけに働きます。
▼ ディスクによっては効果の少ないものがあります。
▼ オーディオDRCはデジタル音声出力端子から出力される音声にも効果があります。
この場合は、**[DD Digital 出力]**を**[DD Digital > PCM]**(97ページ)に設定してください。
▼ オーディオDRCの効果は、音量設定などによっても変わります。実際に設定を切りかえながら、一番効果的な設定を選択してください。

注 意

◆ マナーモード（91ページ）がオンに設定されていると、操作をすることはできません。
◆ ラジオ放送や外部入力の音声には効果がありません。

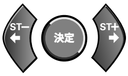
音質を変えて再生する

音楽ライブが収録された DVD や映画が収録されているDVDなど、収録されている内容によって音質を変え、よりよいサウンドを楽しむことができます。
お買い上げ時は、"**POP**" が設定されています。

1. **サウンドボタンを押します**

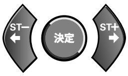


2. **⇦ ⇨ で "SFC MODE" を選んでから、決定ボタンを押します**



SFC　MODE

3. **⇦ ⇨ でお好きな音質を選んでから、決定ボタンを押します**



- 低音、高音を強調したメリハリのある音質

POP

- 中音を強調した音質

VOCAL

- 広がり感のある音質

LIVE

- 音の迫力が増して、セリフが明瞭になる音質

THEATER

- 通常の音質

FLAT

注 意

◆ FLAT 以外の音質を設定すると、表示部に "**SOUND**" が点灯します。
また、91 ページにて設定されていた低音や高音の設定は強制的に 0 になり、マナーモードもオフになります。

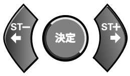
高音と低音を調整する

再生する曲の高音（TREBLE）と低音（BASS）の音質を、それぞれ調整することができます。

1. **サウンドボタンを押します**

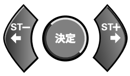


2. **⇦ ⇨ で "TONE" を選んでから、決定ボタンを押します**



TONE

3. **⇦ ⇨ で "BASS" か "TREBLE" を選んでから、決定ボタンを押します**



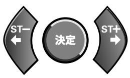
- 低音の音質を調整します

BASS

- 高音の音質を調整します

TREBLE

4. **⇦ ⇨ で音質のレベルを調整してから、決定ボタンを押します**



調整範囲は、± 5 までです。

注 意

◆ 高音または低音を調整すると、前ページで選んだ音質の設定は、FLAT（通常の音質）になります。

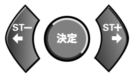
小さい音で他人に迷惑をかけずに音楽を楽しむ(マナーモード)

夜間に音楽を楽しむとき、小音量で再生している場合でも、突然の爆発音などで低音が大きく出ることがあり、隣室などへ音もれといった迷惑をかけることがあります。この機能は、セリフ帯域の音量感をあまり下げることなく、低域と一部高域の音量感をダウンさせることで、隣室などへ音もれといった迷惑を防止するモードです。小音量で他人に迷惑をかけないで、自分の世界を楽しむことができます。

1. **サウンドボタンを押します**

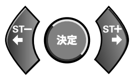


2. **⇦ ⇨ で "MANNER MODE" を選んでから、決定ボタンを押します**



MANNER　MODE

3. **⇦ ⇨ で "ON" または ” OFF ” 選んでから、決定ボタンを押します**



ON

OFF

注 意

◆ マナーモードをオンに設定すると、90 ページで設定した音質の設定は、FLAT（通常の音質）になります。

◆ マナーモードをオンに設定すると、接続したサブウーファーからは、音は出力されません。

決めた時刻に再生する（目覚ましタイマー）

本機の時計機能を使うと、毎日同じ時刻に再生を開始して終了させることができます。
例えば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生させることができます。

例）午前7時40分に再生がスタートし、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットするとき

1. 再生させたい機器の準備をします

ラジオ放送で目覚めるには....

FM/AMボタンを押してから、好きな放送局を受信します。

CDやMP3で目覚めるには....

ディスクをセットし、DVD/CDボタンを押します。

MDで目覚めるには....

ディスクをセットし、MDボタンを押します。

外部機器で目覚めるには....

LINEボタンを押して、外部機器の準備しておきます。

2. 音量の調整を行ないます

設定した音量でタイマーがオンします。

3. タイマー（時間設定）ボタンを押します

4. ⇦ ⇨ で"WAKE – UP"を選んでから、決定ボタンを押します

WAKE–UP

5. ⇦ ⇨ で"TIMER EDIT"を選んでから、決定ボタンを押します

TIMER EDIT

6. ⇦ ⇨ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"7 am"にします。

ON 7 : 00 am

7. ⇦ ⇨ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"40"にします。

ON 7 : 40 am

8. ⇦ ⇨ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"8 am"にします。

OFF 8 : 00 am

9. ⇦ ⇨ で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"15"にします

OFF 8 : 15 am

設定内容を表示し、"**TIMER**"と"**WAKE–UP**"が点灯します。

10 ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

応用編

タイマー

途中で設定を中止にするには



■ボタンを押します

再度、目覚ましタイマーを設定するときは、はじめから設定し直してください。

設定を解除／再設定するには

例えば週末だけ目覚ましタイマーを解除して、月曜日からは先週と同じ内容で、目覚ましタイマーを再設定することができます。

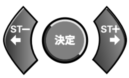
1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオンにします**



2. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**

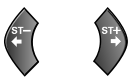


3. **⇦ ⇨ で"WAKE － UP"を選んでから、決定ボタンを押します**



WAKE−UP

4. **設定を解除する場合は、⇦ ⇨ で"TIMER OFF"にします**



目覚ましタイマーが解除されます。

TIMER　OFF

再設定する場合は、⇦ ⇨ で"TIMER ON"にします

TIMER　ON

5. **決定ボタンを押します**



設定内容を確認するには

1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**



電源が入り、設定内容を表示します。

メ モ

▼ 再生させたい機器や音量ボリュームなどの設定した内容は、解除しない限り毎日同時刻に実行されます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定ができません。（22 ページ参照）

◆ 停電したり電源コードを抜くと、時計表示は点滅します。この場合は目覚ましタイマーの設定も解除されていますので、時刻を合わせてからあらためて目覚ましタイマーを設定し直してください。

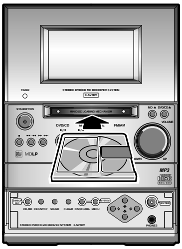
◆ 開始時刻と終了時刻を同じにすると、目覚ましタイマーは動作しません。

決めた時刻に録音する（タイマー録音）

本機の時計機能を使うと、決めた時刻にラジオ放送、または本機に接続した外部機器の録音を開始して終了させることができます。
例えば、お出かけするときや深夜のラジオ放送をタイマー録音を使ってMDに録音することができます。

例）午前7時40分から午前8時15分までタイマー録音する場合

1. 録音用MDをセットします



ラベルを上にしてMDの矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. 録音したい機器の準備をする

ラジオ放送をタイマー録音するには....

FM/AMボタンを押してから、録音したい放送局を受信します。

外部機器をタイマー録音するには....

LINEボタンを押して、外部機器の準備しておきます。

3. タイマー（時間設定）ボタンを押します

タイマー（時間設定）

4. ⇦ ⇨ で"TIMER REC"を選んでから、決定ボタンを押します

TIMER　REC

5. ⇦ ⇨ で"TIMER EDIT"を選んでから、決定ボタンを押します

TIMER　EDIT

6. ⇦ ⇨ で開始時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"7 am"にします。

ON　7：00 am

7. ⇦ ⇨ で開始時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

再生開始時刻が設定されます。

例の場合は、"40"にします。

ON　7：40 am

8. ⇦ ⇨ で終了時刻の「時」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"8 am"にします。

OFF　8：00 am

9. ⇦ ⇨ で終了時刻の「分」を合わせてから、決定ボタンを押します

例の場合は、"15"にします

OFF　8：15 am

設定内容を表示し、"**TIMER**"と"**REC**"が点灯します。

10 ⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします

電源

途中で設定を中止にするには

■ボタンを押します

再度タイマー録音を設定するときは、はじめから設定し直してください。

タイマー録音中に録音を途中で止めるには

STOP/REC ボタンを押します

REC/STOP

設定を解除 / 再設定するには

1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオンにします**

電源

2. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**

タイマー
(時間設定)

3. **⇦ ⇨ で "TIMER REC" を選んでから、決定ボタンを押します**

ST− 決定 ST+

TIMER　REC

4. **設定を解除する場合は、⇦ ⇨ で "TIMER OFF" にします**

ST− ST+

タイマー録音が解除されます。

TIMER　OFF

再設定する場合は、⇦ ⇨ で "TIMER ON" にします

TIMER　ON

5. **決定ボタンを押します**

決定

設定内容を確認するには

1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**

電源

2. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**

タイマー
(時間設定)

電源が入り、設定内容を表示します。

メ モ

▼ MD に録音するときに、LP4 または LP2 モード（38ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

注 意

◆ 時計を合わせていないと、タイマーの設定をすることはできません。（22ページ参照）
◆ タイマー録音中は、音量は MIN（最小）になり音は出ません。なお、タイマー録音終了後も音量は MIN（最小）のままです。タイマー録音開始後の音声を聞く場合は、音量を調整してください。
◆ タイマー録音は1度行うと、設定はオフになります。そのつど設定してください。
◆ タイマー録音では録音準備のため、開始時刻の約30秒前に電源が入りますので、1～10の手順を開始時刻の1分以上前に行ってください。1分以上前に手順を行わなかった場合、録音ができない場合があります。
◆ タイマー録音動作中の表示の明るさは、"DARK"の設定になります。（110ページ参照）

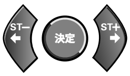
決めた時間後に電源を切る（スリープタイマー）

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら眠ったり、録音したまま外出したりするときに便利です。
設定できる時間は、30分、60分、90分の3種類と、スリープオートです。
時計を合わせていないと、スリープタイマーを使用することはできません。

1. **タイマー（時間設定）ボタンを押します**

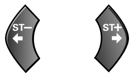


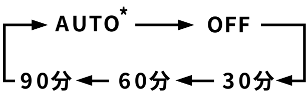
2. **⇦⇨ で "SLEEP TIMER" を選んでから、決定ボタンを押します**



SLEEP TIMER

3. **⇦⇨ で終了するまでの時間を設定します**





4. **決定ボタンを押します**



スリープタイマーを設定すると、表示部の "SLEEP" が点灯します。

* **スリープオート(SLEEP AUTO)**
CDやMDなどのディスクの再生中、またはMDの録音中に選ぶことができます。
再生または録音が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源が切れます。

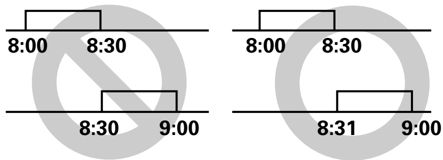
注 意

◆ スリープ動作中の表示の明るさは、"DARK" の設定になります。（110ページ）
◆ ビデオCDでは、PBC再生中やリピート再生中（48ページ）には、スリープオートは動作しません。

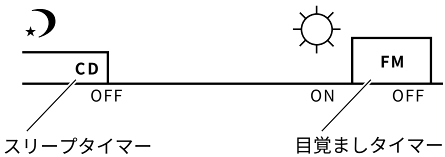
タイマーを同時に使ったとき

目覚ましタイマーとタイマー録音を組み合わせて使う場合、以下の注意が必要です。

◆ 目覚ましタイマーとタイマー録音が連続する設定をするときは、設定時刻が重ならないように設定間隔を1分以上あけてください。設定時間に間隔があいていないと、あとに動作予定のタイマー録音が動作しません。



◆ タイマー録音、目覚ましタイマー、スリープタイマーのタイマー動作が重なったときは、先に動作する方が優先します。
また、開始時刻が重なったときはタイマー録音が優先されます。
◆ スリープタイマーと目覚ましタイマーを組み合わせて使うことができます。
例えば、夜はCDを聞きながらスリープタイマーで電源をオフにして寝て、朝はFMで目覚めるといったことができます。



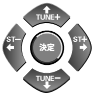
デジタル音声出力の設定を変更する

本機をAVアンプと接続することで、DVDなどの音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しむことができるようになります。
はじめに**DVD/CDボタン**を押してから、以下の操作をしてください。

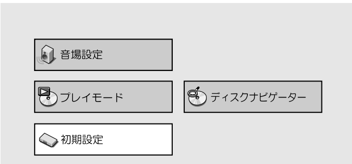
1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



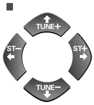
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

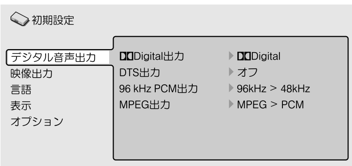


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



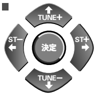
3. [デジタル音声出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します

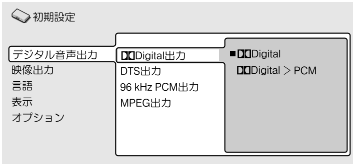




接続する外部機器がドルビーデジタルに対応しているとき

4. [DD Digital 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んでから決定ボタンを押します





DD Digital(お買い上げ時の設定)
ドルビーデジタル対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

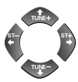
DD Digital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器と接続したときに選択します。

メモ

よく使うボタン



設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする（この場合、設定は保存されません）。



項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。



項目を決定する。



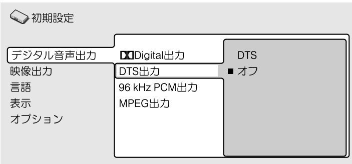
一つ前の画面に戻る。

接続する外部機器が DTS に対応しているとき

はじめから操作する場合は、97ページの手順1から 3 の操作をしてください。



[DTS 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



DTS

DTS 対応機器、またはデコーダーと接続したときに選択します。

オフ(お買い上げ時の設定)

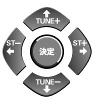
DTS に対応していない機器と接続したときに選択します。

注 意

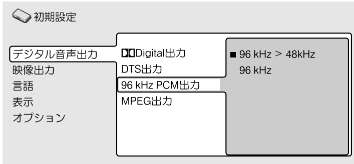
◆ DTS に対応していない機器に接続しているときに[DTS]を選択するとノイズが発生することがあります。

接続する外部機器が 96kHz に対応しているとき

はじめから操作する場合は、97ページの手順1から 3 の操作をしてください。



[96kHz PCM 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



96kHz > 48kHz(お買い上げ時の設定)

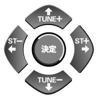
96kHz の信号を 48kHz に変換して出力します。96kHz に対応していない機器と接続したときに選択します。

96kHz

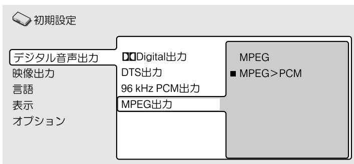
96kHz対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

接続する外部機器が MPEG に対応しているとき

はじめから操作する場合は、97ページの手順1から 3 の操作をしてください。



[MPEG 出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



MPEG

MPEG 対応機器またはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(お買い上げ時の設定)

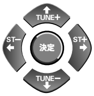
MPEG 信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。MPEG に対応していない機器と接続したときに選択します。

映像出力の設定を変更する

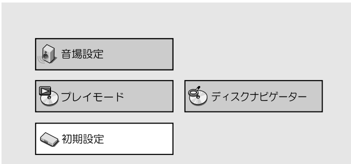
1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



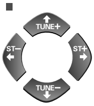
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

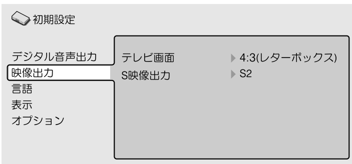


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



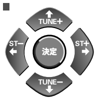
3. [映像出力]を選んでから、カーソルを右へ移動します

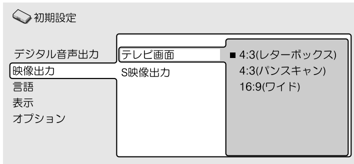




接続したテレビのサイズは、ワイドサイズ(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

4. [テレビ画面]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





4:3(レターボックス)(お買い上げ時の設定)

従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(次ページ)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)

従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(次ページ)で見たいときに選択します。この設定はディスクが対応していないとできません。

16:9(ワイド)

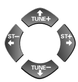
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

メモ

よく使うボタン



設定画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする（この場合、設定は保存されません)。



項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。



項目を決定する。



一つ前の画面に戻る。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は･･･

お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の[テレビ画面]の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき 		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき 	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像  4:3の映像 	16:9(ワイド)	16:9の映像  4:3の映像 
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像  4:3の映像 		

メ モ

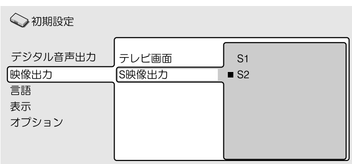
▼ 画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

S 映像端子から出力される映像信号を S 1 に切りかえるとき

はじめから操作する場合は、9 9ページの手順1から 3 の操作をしてください。



[S 映像出力]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



S 1

S 1 映像信号が出力されます。

S 2(お買い上げ時の設定)

S 2 映像信号が出力されます。

注 意

◆ 本機とテレビを S 映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは**[S 1]**を選択してください。

言語の設定を変更する

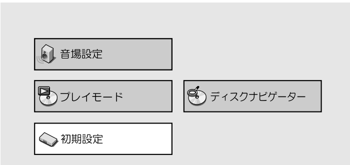
1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



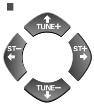
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

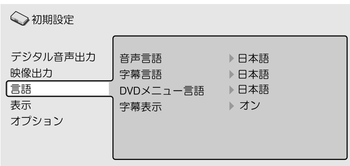


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



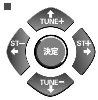
3. [言語]を選んでから、カーソルを右へ移動します

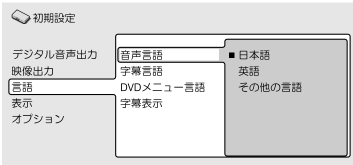




音声言語を変更する

4. [音声言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





日本語(お買い上げ時の設定)

音声言語が日本語になります。

英語

音声言語が英語になります。

その他の言語

136 言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは 103 ページの『*字幕言語 / 音声言語/DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

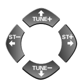
メ モ

▼ 音声言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

よく使うボタン



設定画面を表示する。操作 / 設定の途中で画面をオフにする（この場合、設定は保存されません)。



項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。



項目を決定する。



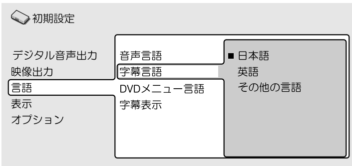
一つ前の画面に戻る。

字幕言語を変更する

はじめから操作する場合は、101ページの手順1から3の操作をしてください。



[字幕言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



日本語(お買い上げ時の設定)

日本語の字幕を表示します。

英語

英語の字幕を表示します。

その他の言語

136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは次のページの『*字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

メモ

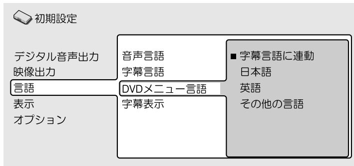
▼ 字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

DVDのメニューに表示する言語を変更する(DVDメニュー言語)

はじめから操作する場合は、101ページの手順1から3の操作をしてください。



[DVDメニュー言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



字幕言語に連動(お買い上げ時の設定)

[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語

日本語でメニュー画面が表示されます。

英語

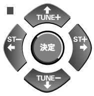
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語

136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは次ページの『*字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき*』をご覧ください。

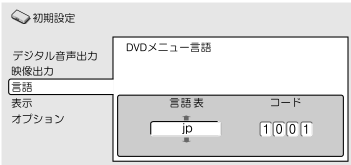
字幕言語 / 音声言語 /DVD メニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだとき

132ページの言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. 

[その他の言語]を選んでから、決定ボタンを押します

例）DVD メニュー言語の場合



2. 

[言語表]、または[コード]を選んでから、決定ボタンを押します

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(132 ページ)をご覧ください。

[言語表]で言語を選ぶとき

例えばフランス語を選ぶ場合は、⇧を 2 回押します。

[コード]で言語を選ぶとき

下記のいずれかの操作をします。

例えばフランス語を選ぶ場合は、

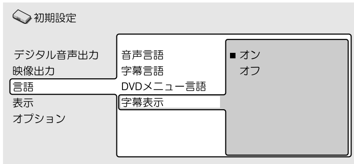
- 数字ボタンの 0、6、1、8 を押します。
- 1ケタごとに⇧ ⇩ で数字を選択します(⇦⇨ でケタを移動します。)

字幕を表示しないようにするには(字幕表示)

はじめから操作する場合は、101ページの手順 1 から 3 の操作をしてください。



[字幕表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



オン(お買い上げ時の設定)

字幕を表示します。

オフ

字幕を表示しません。ただし、DVD の中には強制的に字幕を表示するものがあります。

表示の設定を変更したいとき

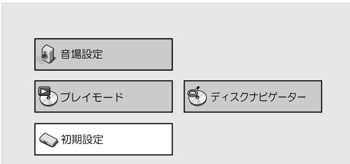
1. DVD設定ボタンを押して、設定画面を表示させます



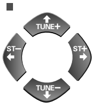
2. [初期設定]を選んでから、決定ボタンを押します

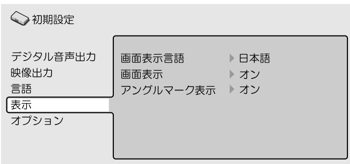


ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。



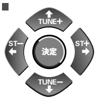
3. [表示]を選んでから、カーソルを右へ移動します

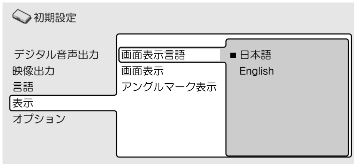




画面に表示される言語を英語にする（画面表示言語）

4. [画面表示言語]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します





日本語(お買い上げ時の設定)

画面に表示される言語が日本語になります。

English

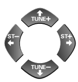
画面に表示される言語が英語になります。

メモ

よく使うボタン



設定画面を表示する。操作／設定の途中で画面をオフにする（この場合、設定は保存されません）。



項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。



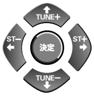
項目を決定する。



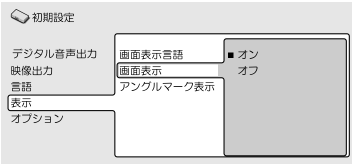
一つ前の画面に戻る。

画面に操作表示([再生]、[停止]など)を出さないようにする（画面表示）

はじめから操作する場合は、104ページの手順1から3の操作をしてください。



[画面表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



オン(お買い上げ時の設定)
画面に操作表示をします。

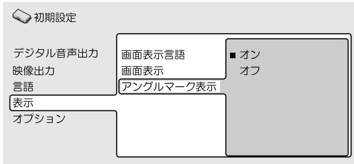
オフ
画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにする(アングルマーク表示)

はじめから操作する場合は、104ページの手順1から3の操作をしてください。



[アングルマーク表示]を選択してカーソルを右へ移動させてから、項目を選んで決定ボタンを押します



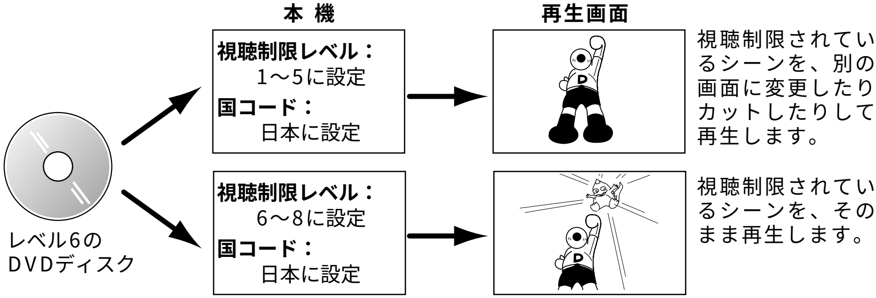
オン(お買い上げ時の設定)
画面に マークを表示します。

オフ
画面に マークを表示しません。

オプションの設定

視聴制限を設定する

暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば本機のレベルを 5 に設定しておくと、レベル 6 のディスク（またはシーン）を再生することはできません。レベル 6 のディスクを再生するには、あらじめ登録してある暗証番号を入力して、本機のレベルを 6 以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能で、国コード * をあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。



＊国コードについて
国コードは、ディスクに指定されている国コードを指定します。

一般的な視聴制限レベルの設定（各レベルと再生できる内容について）

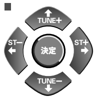
<table>
<tr><th>レベル</th><th colspan="2">再生内容</th></tr>
<tr><td>レベル 1 に設定すると</td><td>子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R指定含む）は再生できません。</td><td rowspan="2">レベル 1 のディスクは、大人から子供まで誰でも楽しめる内容。</td></tr>
<tr><td>レベル 2～3 に設定すると</td><td>一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R 指定）ディスクは再生できません。</td></tr>
<tr><td>レベル 4～7 に設定すると</td><td>一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生することができます。成人指定ディスクは再生できません。</td><td>レベル 4 ～ 7 のディスクは中学生以下が見ることができない内容。</td></tr>
<tr><td>レベル 8 に設定すると</td><td>すべてのディスクを制限無しで再生することができます。</td><td rowspan="2">レベル 8 のディスクは成人しか見ることのできない内容。</td></tr>
<tr><td>「オフ」に設定すると</td><td>パレンタルレベルを「切」にします。</td></tr>
</table>

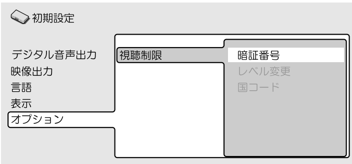
暗証番号を登録するには･･･

本機で設定した視聴制限レベルを容易に変更できないようにするため、暗証番号を設定します。暗証番号は次のようなときに必要となります。

- 本機で設定した視聴制限レベルを変更するとき
- ディスクを再生中に視聴制限が働いたとき（視聴制限レベル一時変更）

1. **[オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選んでから、決定ボタンを押します**

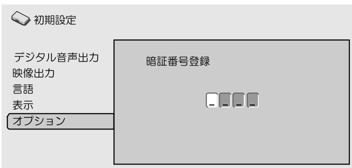




2. **数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します**







視聴制限できる DVD を再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。





数字(0 ～ 9)ボタンで 4 桁の暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

メ モ

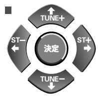
▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

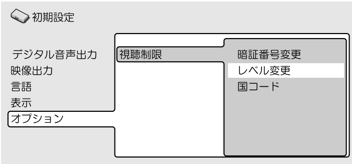
▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、お買い上げ時の設定に戻して、再度設定してください。（131 ページ）

▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

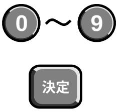
本機のレベルを設定するには・・・

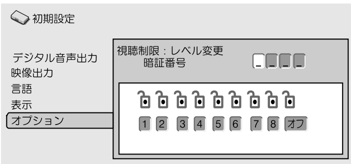
1. [レベル変更]を選んでから、決定ボタンを押します



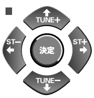


2. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します





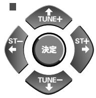
3. レベルを選んでから、決定ボタンを押します

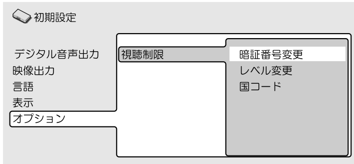




暗証番号を変更するには・・・

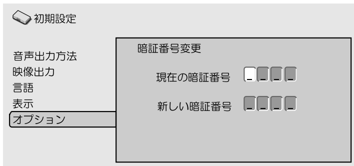
1. [暗証番号変更]を選んでから、決定ボタンを押します



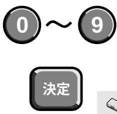


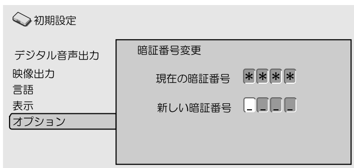
2. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します





3. 数字(0 ～ 9)ボタンで新しい暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します

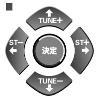


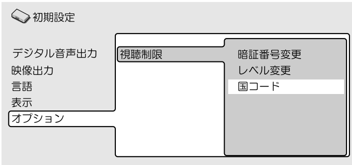


国コードを変更するには･･･

132 ページの国コード表を見ながら操作します。

1. [国コード]を選んでから、決定ボタンを押します

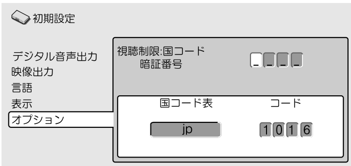




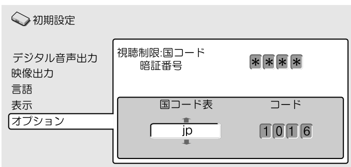
2. 数字(0 ～ 9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力してから、決定ボタンを押します







3. 数字(0 ～ 9)ボタンで[コード]、または⇧⇩で[国コード表]を入力してから、決定ボタンを押します



[国コード表]で変更するとき





例えば日本を選ぶ場合は、⇧⇩で[jp]を選択します。

[コード]で変更するとき

下記のいずれかの操作をします。

例えば日本を選ぶ場合は、







- 数字ボタンの 1、0、1、6 を押します。（132 ページの国コードリスト参照）
- 1ケタごとに⇧⇩で数字を選択します(⇦⇨でケタを移動します。)

4. 本体の DVD/CD ▲ボタンを押して、ディスクを取り出します



国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

表示全体の明るさをかえる

部屋の明るさに応じて表示の明るさを、明るい設定（LIGHT）と暗い設定（DARK）に切りかえることができます。ディマー機能といいます。
お買い上げ時は、明るい設定（LIGHT）になっています。

1. **システムメニューボタンを押します**

システム メニュー

2. **⇦ ⇨ で "DIMMER" を選んでから、決定ボタンを押します**

ST− 決定 ST+

DIMMER

3. **⇦ ⇨ でお好みの明るさを選びます**

ST− ST+

明るくするときは、"LIGHT"を選びます。

LIGHT

暗くするときは、"DARK"を選びます。

DARK

4. **決定ボタンを押します**

決定

ボリュームの設定をかえる

最小音量値から最大音量値までのボリュームの変化ステップ量が 30 ステップのノーマルポジションと、80 ステップのファインポジションとがあります。
お買い上げ時は、ノーマルポジションになっています。ファインポジションにすると、小さな音量のときに微調整がしやすくなります。

1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**

電源

2. **システムメニューボタンを押します**

システム メニュー

3. **⇦ ⇨ で "VOLUME MODE" を選んでから、決定ボタンを押します**

ST− 決定 ST+

VOLUME　MODE

4. **⇦ ⇨ でボリュームの設定を選びます**

ST− ST+

ノーマルポジションのときは、"NORMAL" を選びます。

NORMAL

ファインポジションのときは、"FINE" を選びます。

FINE

5. **決定ボタンを押します**

決定

時計の表示モードをかえる

時計の表示を、12時間表示と24時間表示とに切りかえることができます。お買い上げ時は、12時間表示になっています。

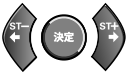
1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **システムメニューボタンを押します**

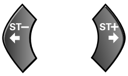


3. **⇦ ⇨ で "HOUR FORMAT" を選んでから、決定ボタンを押します**



HOUR　FORMAT

4. **⇦ ⇨　でお好きな表示を選択します**



12 時間表示

12–HOUR

24 時間表示

24–HOUR

5. **決定ボタンを押します**



周波数ステップを切りかえる

国内では通常、FM/AM 放送を受信するときの周波数ステップを、FM 放送は 50kHz ごとに、AM放送は9kHzごとに設定されています（本機お買い上げ時の設定）。本機ではこの周波数ステップを、FM放送は100kHzステップに、AM放送は 10kHz ステップに変えることができます。

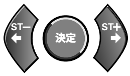
1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**



2. **システムメニューボタンを押します**

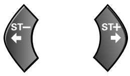


3. **⇦ ⇨ で "TUNER STEP" を選んでから、決定ボタンを押します**



TUNER　STEP

4. **⇦ ⇨　で 9kHz か 10kHz を選択します**



AM放送を 9kHzステップにしたとき

AM9K /FM50K

AM 放送を 10kHz ステップにしたとき

AM10K /FM100K

5. **決定ボタンを押します**



外部機器の接続のしかた

本機には、外部機器の接続用の端子として、アナログ入出力端子と光デジタル出力端子とがあります。

アナログ接続する場合

CD-R、MD、カセットデッキなどのアナログ入出力端子のある機器を、本機に接続することができます。接続した機器を本機で聞いたり、本機のMDで録音したりすることもできます。また、接続した機器で本機のMDなどを録音することができます。

接続のしかた

本機の**ライン入力端子**と接続機器のアナログ出力端子、本機の**ライン出力端子**と接続機器のアナログ入力端子とを、それぞれ市販のピンプラグ付接続コードで接続します。

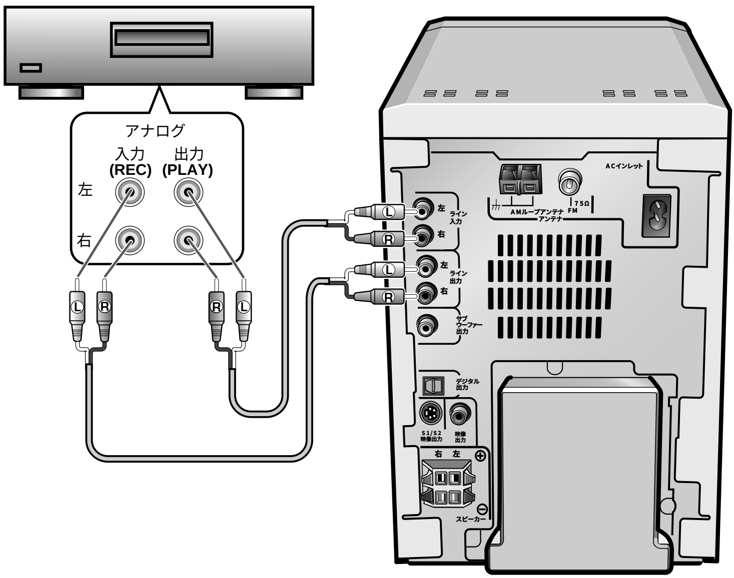
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

本機で聞いたり録音したりするには



LINE ボタンを押します

カセットデッキなどの機器



デジタル接続する場合

AVアンプと接続して、本機で再生しているDVDの音声をマルチチャンネルサラウンドで楽しんだり、CD-Rなどと接続して本機のCDを録音したりすることができます。

接続のしかた

市販の光ファイバーケーブルで、本機の**デジタル出力端子**と接続機器の光デジタル入力端子とを接続します。

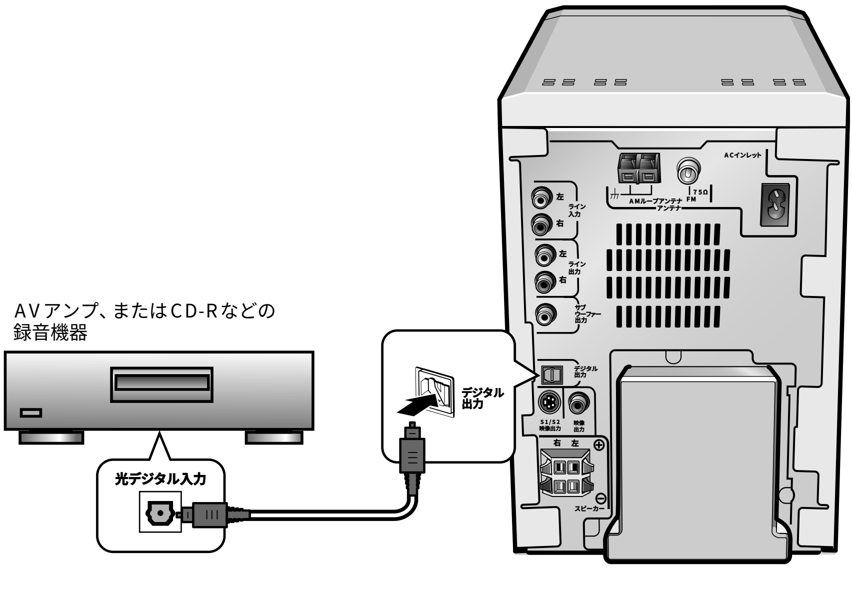
- 詳しくはそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

Q&A

Q ：外部接続したデジタル機器にデジタル録音ができない！

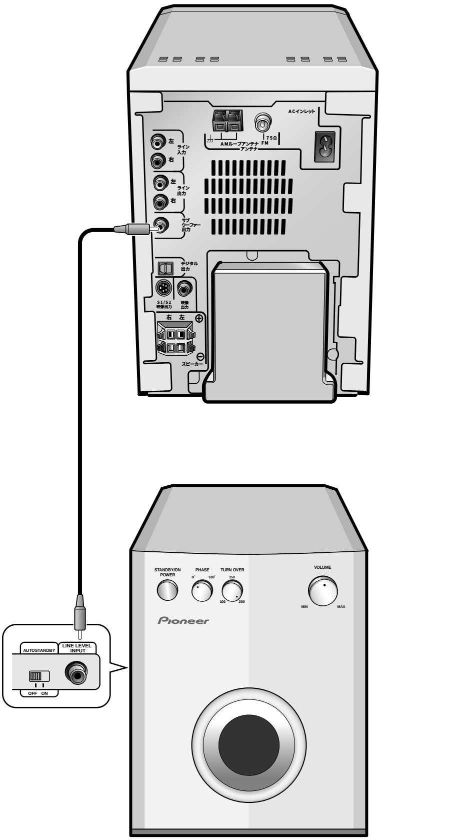
→ デジタル録音されたCD-R/CD-RWを、さらに別のデジタル機器に録音することはできません。（122ページ参照）

→ 本機では、MDの音声はデジタル出力されません。本機で再生したMDを録音する場合は、アナログ接続から録音してください。



別売のサブウーファー（S-SW5-S、S-SW5-K）を接続する

別売のサブウーファーを接続すると、DVDのサラウンドの世界をより楽しむことができます。サブウーファーに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



アンプ付きサブウーファー
(S-SW5-S、S-SW5-K)

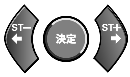
サブウーファーの設定をする

本機に接続したサブウーファーから、音を出力する / しないの設定をすることができます。お買い上げ時は、オン（サブウーファーから音を出力する）の設定になっています。

1. **サウンドボタンを押します**

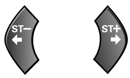


2. **⇦ ⇨ で "SW SETTING" を選んでから、決定ボタンを押します**



SW　SETTING

3. **⇦ ⇨ で "ON" か "OFF" を選びます**



"ON" にすると、サブウーファーから音が出力されます。

ON

"OFF" にすると、サブウーファーから音が出力されません。

OFF

4. **決定ボタンを押します**



Q&A

Q　：サブウーファーから音が出ない！

→　本機には、接続したサブウーファーから、音を出力する / しないの設定があります。オン（サブウーファーから音を出力する）の設定になっているか、確認してください。

→　マナーモードがオンに設定されていると、サブウーファーからは音は出ません。91ページにて、マナーモードの設定をオフにしてください。

外部機器音声の歪みを減らす

LINE 入力に接続した機器を本機で聞いたときや、アナログ録音して再生すると、歪みっぽく感じられる場合があります。これは入力信号が大きすぎることが考えられ、アッテネーター（減衰器）をオンすると改善されることがあります。設定すると表示部に "ATT" と点灯します。

1. **⏻ 電源ボタンを押して、電源をオフにします**

電源

2. **システムメニューボタンを押します**

システムメニュー

3. **⇦ ⇨ で "LINE ATT" を選んでから、決定ボタンを押します**

ST− 決定 ST+

LINE ATT

4. **⇦ ⇨ で "ON" か "OFF" を選びます**

ST− ST+

"ON" にすると、アッテネーター（減衰器）により、入力信号が−6dB（半分に）減衰します。

"ON" を選んだときの例

ON

"OFF" を選んだときの例

OFF

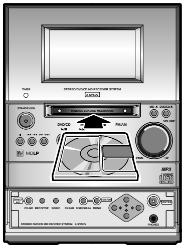
5. **決定ボタンを押します**

決定

外部機器を MD に録音する

MD にマニュアル操作で録音をします。

1. **録音用 MD をセットします**



ラベルを上にして MD の矢印の方向から入れます。途中から自動的に引き込まれます。

2. **LINEボタンを押して、録音する外部機器の再生の準備をします**

LINE

接続のしかたについては、112〜113 ページを参照してください。

3. **録音 / 停止ボタンを押します**

録音を開始します。
"REC" が点灯にかわります。

REC/STOP

4. **録音する機器の再生を開始します**

録音を途中で止めたいときは

録音 / 停止ボタンを押します

REC/STOP

メ モ

▼ この方法で録音するときに、LP4 または LP2モード（38ページ参照）に設定すると、より長時間録音できます。

DVD ディスクの基礎知識

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク		
DVD ビデオ		
ビデオ CD		
CD	CD-R*	CD-RW*
F-Disc(エフディスク)	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。	

本機で再生できないディスクの種類

DVD オーディオ、DVD-ROM、DVD-RAM、フォト CD、CD-G、リージョンが **「2」「ALL」** 以外の DVD ビデオなど

DVD-R/DVD-RW ディスクの再生について

- 本機ではDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクを再生することができます。
- **本機ではビデオレコーディングフォーマットで記録されたDVD-RWディスクは再生できません。**

*CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、または MP3 の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3 の再生について

- ISO9660CD-ROM ファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32kHz、44.1kHz、または 48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは **[このフォーマットは再生できません]** と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（124 ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- 半角英数字で入力された文字のフォルダー/トラックの名前を表示することができます。半角英数字以外で入力されているフォルダー / トラックの名前には、「F_001」/「T_001」のようにMP3 ナビゲーター、またはプログラムの画面に表示されます。また、本体表示窓にも半角大文字英数字以外を表示できないことがあります。
- フォルダー / 総トラック数はそれぞれ 250 まで対応しています。251 以降のフォルダー / トラックを再生することはできません。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

注 意

- ◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW ディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- ◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ◆ ファイナライズ*していないCD-R/CD-RWディスクでは、一部の時間情報が表示されないことがあります。
- ◆ 詳しいCD-R/CD-RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。
- ◆ ファイナライズ**していないDVD-R/DVD-RW ディスクを再生することはできません。

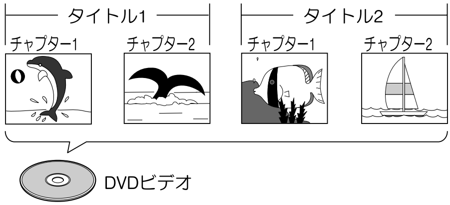
* 録音が終了したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで再生できるようにしたり、CD-RWディスクをCD-RW対応のプレーヤーで再生できるようにするための最終処理。

** ビデオフォーマットで録画したディスクを、一般のDVDプレーヤーで再生できるようにするための最終処理。

タイトルとチャプターについて

DVD ではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています(DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません)。

DVDビデオの映画ソフトなどでは、一般的に1つの映画が 1 つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

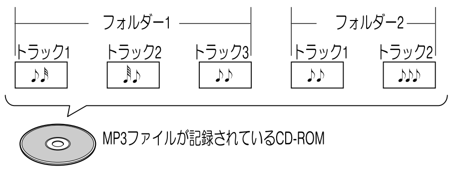


トラックについて

CDやビデオCDでは、ディスクをトラックという単位で分けています(一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

MP3 について

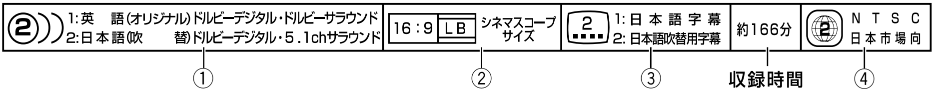
MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。



DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVDビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVDビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例



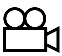
① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています(音声の切りかえは、29ページをご覧ください)。
上記の場合本機では、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は5.1chサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(99ページ)。

③ ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています(字幕の切りかえは、29ページをご覧ください)。
DVDビデオでは最大32種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機（日本向け）の再生可能地域番号は2番で、ディスクに記載された地域番号が2番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク



舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(51ページ)。

メ　モ

▼ DVDビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニアPCM」の3つが現在主流となっています。（124ページの用語解説を参照）

ディスクの取り扱いかた

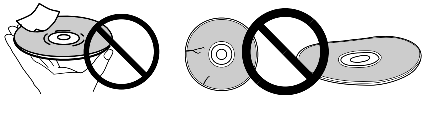
DVD/CD ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

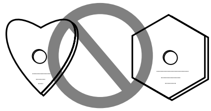
ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、再生ができなくなることがあります。その場合は、クリーニングクロスで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



ディスクの結露について

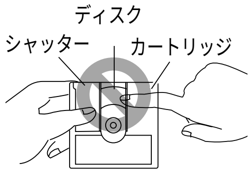
冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできない場合がありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

応用編

MD の取り扱いかた

⚠ 注意

・ディスクに直接触れないでください。
・シャッターを無理に開けるとこわれます。
・分解しないでください。



右記マークのディスクをお使いください。

MD とは

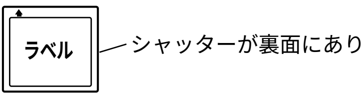
- 直径64mmのディスクをカートリッジに収めたもので、ホコリに強く、キズもつきにくいなど CD に比べ取り扱いが簡単です。
- 録音や再生はデジタル方式ですので、CDに迫る高音質を再現します。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

MD の種類について

再生専用と録音・再生用があります。

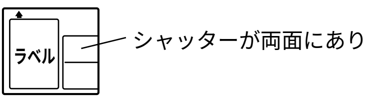
■再生専用 MD（録音はできません）

CD と同じ光ディスクを使っています。



■録音・再生用 MD

光磁気ディスクを使っているので、繰り返し録音することができます。



保管

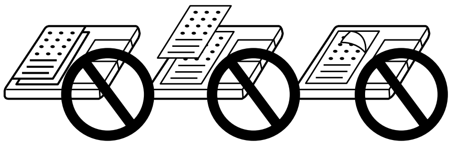
・ケースに入れて保管してください。
・次のようなところには保管しないでください。
－高温多湿の場所
－直射日光が当たる場所
－砂やホコリの入りやすい場所

カートリッジのお手入れ

乾いた布でホコリや汚れを軽く拭き取ってください。

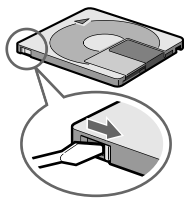
ラベルの貼付けについて

以下のことをお守りください。正しく貼られていない場合、MD が取出せなくなります。
・指定の場所(エリア内)に貼ってください。
・重ねて貼付けないでください。
・ラベルが浮いたり、めくれたりしたら新しいラベルに貼りかえてください。

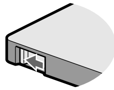


録音した MD を誤消去しないために

側面にある誤消去防止つまみを開けると録音できなくなります。



再び録音や編集をしたいときは、つまみを閉じます。



ＭＤ録音の基礎知識

TOC(トック)が記録されています

曲や音声と共に、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報として（TOC:Table of Contents）が記録されています。
したがって、再生や編集をするときには、曲番・曲名や録音場所など、曲を認識するための情報としてTOCを手がかりに動作しています。
ですからＭＤで曲の録音をしたり編集作業をした場合は、TOC情報もディスクに記録しますし、TOC情報を書き換えたりもしています。

ＭＤ録音とテープ録音の違い

- ＭＤは片面だけの録音です。
- 録音できる場所を自動的に探して録音します。
- 録音の前に録音できる残り時間が確認できます。

TOCを記録するときの注意

TOCの記録中に電源コードを抜いたり、本体に衝撃を与えないでください。TOCが正しく記録されず、正しく再生できない場合があります。

- TOC記録中は、以下の表示をします。

TOC WRITE

TOCはいつＭＤに記録される？

- ＭＤ取り出し(⏏)ボタンを押したとき
- 電源を切ってスタンバイ状態になるとき
- 録音を停止したとき
- 編集後に再生を停止したとき

録音中に停電すると

ＭＤへの録音中に、電源スイッチを切ったり電源コンセントが抜けたり停電があった場合は、その時の録音内容は全て消えてしまうことがあります。
すでに録音しているＭＤに追加して録音していた場合は、追加していた部分が消えてしまいます。

ＭＤに録音できない場合

- 再生専用ＭＤ（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- ＭＤが誤消去防止状態になっているとき
- ＭＤの録音可能時間が残っていないとき
- "DISC FULL" が表示されたとき
- TOCが異常のとき

LP2、LP4録音について

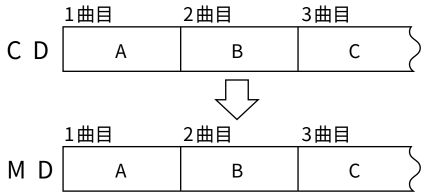
本機でＬＰ２、ＬＰ４モードで録音した曲は、MDLP対応機器以外では再生できません。
LP4モードでの録音は、特殊な圧縮方式によって、長時間のステレオ録音を可能にしているので、ごくまれに雑音が録音される可能性があります。
音質を重視する録音をする場合は、通常のステレオ録音か、LP2モードでの録音をおすすめします。

曲番号について

ＭＤに曲や音声を録音すると、自動的に曲番号がつけられます。追加録音したときは、順に曲番号が大きくなります。

CDをデジタル録音したとき

CDなどについている曲番号と同じ所に、1曲ごとの曲番号が自動的につきます。ただし４秒以下の曲がある場合などは、CDの曲番号と録音したＭＤの曲番号が一致しないことがあります。

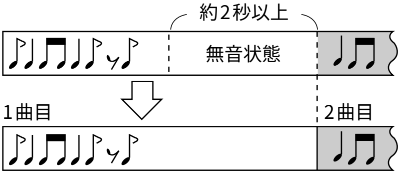


ラジオ放送を録音したとき

１回の録音内容を１曲として曲番号がつきます。

テープなどの外部機器から録音したとき

2 秒以上の無音部分があると曲間と判断し、次に音が入力されたときに、曲番号が自動的につきます（オートマーク機能）。



- 信号に雑音があるときなど､録音する内容によっては､正しい位置に曲番号がつかないこともあります。

デジタルコピーに関するご注意

デジタルオーディオ（CD、MD、CD-R、衛星デジタル音楽放送など）では、音声信号をデジタル信号にてやり取りすることができます。
アナログ信号と違いデジタル信号でのやり取りでは､音楽を劣化の少ない状態で録音することが可能なために､音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要となりました。
それが､シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)で､デジタル信号による録音を｢何世代まで｣と規制している方式です。概要は､以下の通りです。

1 デジタル録音されたものを、さらに別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へデジタル録音することはできない。

2 アナログ録音されたものは、別のデジタル録音機器（MDやCD-R）へ1度だけデジタル録音することができる。

注 意

◆ アナログ録音をする場合は、シリアルコピーマネージメントシステム(SCMS)は関係ありません。

CD(CD-R/CD-RW)のアナログ録音とデジタル録音を切りかえる

CD(CD-R/CD-RW)から MD へ録音する場合、デジタル録音とアナログ録音とを切りかえることができます。例えば、CD-R からの録音で"Can't REC"と表示が出て録音できない場合は、アナログ録音に切りかえてから録音します。

1. CD(CD-R/CD-RW)をセットします

CD(CD-R/CD-RW)以外のディスクをセットすると､アナログ録音固定となり操作することできません。

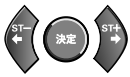
2. DVD/CD ボタンを押して再生させてから、■ ボタンを押します



3. システムメニューボタンを押します

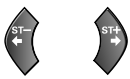


4. ⇦ ⇨ で "INPUT SEL." を選んでから、決定ボタンを押します



INPUT SEL .

5. ⇦ ⇨ を押して､デジタルかアナログかを選びます



- デジタル録音（お買い上げ時）

DIGITAL

- アナログ録音

ANALOG

6. 決定ボタンを押します



アナログ録音に設定すると､表示部から "**DIGITAL**" が消灯します。

MD のシステム上の制約

MD は従来のカセットテープや DAT とは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。
これらは、システム上の制約によるものですので、故障ではありません。

症状	システム上の制約
MD の最大録音時間になっていないのに“ DISC（ディスク） FULL（フル） ”が表示されることがある。	MD では、TOC に MD 上の録音場所の区切りが登録されます。何度も部分的に消去して録音したり、編集をくり返したりすると、曲数が最大（255曲）になっていなくても、TOC（トック）の情報がいっぱいになるので、録音できなくなります。 （このような MD は、不要なトラックを消去するか全曲イレース機能を行なえば、使用できます。） ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音できなくなるため録音時間が少なくなります。
短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。	録音残り時間を表示するとき、12 秒以下（通常のステレオ録音で録音時）の短い曲などは曲として数えられないことがあるためです。
MD に録音した時間と録音の残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。	通常は、1 クラスタ(通常のステレオ録音で約 2 秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約 2 秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MD にキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。
残り再生時間や総再生時間が、実際の再生時間と一致しないことがある。	計算処理の制約により、誤差が生じる場合があります。
編集で曲と曲とをつなげないことがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、コンバイン機能を使えないことがあります。
録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれることがある。	録音・編集をくり返して行なった MD では、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4：3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して1本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

視聴制限
暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

ドルビーデジタル *1 DOLBY DIGITAL
DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル（5.1ch サラウンド）で記録されているソフトとは、5 つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。

**1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。*
「Dolby」、「ドルビー」及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD(バージョン 2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大 8 言語(8 ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョン No.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHz などの表示があることもあります。

DTS*²

DTS とはデジタルシアターシステム（Digital Theater Systems）の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。

*² *DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。*

DVD ビデオフォーマット記録

DVD VIDEO、または DVD VIDEO マークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)で DVD-R/DVD-RW ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、「V1」とよばれる高画質で録画するモード(録画時間：1時間)と、「V2」とよばれる長時間で録画するモード(録画時間：2 時間)があります。

F-Disc（エフディスク）

8mm フィルムで撮った映像を DVD ディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株) フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー 3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと 3 文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Group の略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVD の映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1 映像出力

S1 とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入った S 映像信号です。

S2 映像出力

S1 に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入った S 映像信号です。S2 対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

3/2.1CH

3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

例）5.1CH の場合

- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*¹ チャンネル[1CH × 0.1*² = 0.1CH]

***1**: 重低音強調効果の意
***2**: 音声全体に対して低音が占める割合

テレビ画面には下記のように表示されます。



応用編

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
すべてに共通		
音が出ない。	• 電源コードがはずれています。電源コードを正しく接続してください。 • すべてのコードが完全に接続されていません。接続のしかたを参照して、正しく接続してください。	12 10-12
音量を調節しても音がなかなか小さくならない、または大きくならない。	• ボリューム設定が“ FINE ”になっています。ボリューム設定を“ NORMAL ”にしてください。	110
DVD/CD 関係		
設定した内容が消えてしまった。	• 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず⏻電源ボタンを押して、表示窓の[**See you!**]表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	• ■ボタンを押してから、もう一度再生してください。	
DTS音声が出力されない。	• DTS音声対応アンプ、またはデコーダーをお持ちでないときはDTS音声を再生することはできません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの音声ボタンでDTS 以外の音声を選んでください。 • 本機と DTS 音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは[DTS 出力]の設定を[オフ]にしてください。ノイズが発生することがあります。 • DTS音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときは、アンプの設定、およびデジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	29 98 113

症状	原因 / 対策	参照ページ
画面に[**本機のスピーカーからは、DTSの音声は出力されません**]と表示された。	• 本機では、スピーカーやヘッドホンからは、DTSの音声を出力することができません。ディスクのメニュー画面、またはリモコンの音声ボタンでDTS以外の音声を選んでください。	98
スピーカーから音が出ない。	• ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？	119
外部機器として接続したAVアンプなどから音が出ない。	• 本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子に音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ • オーディオ・ビデオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続したAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 • [デジタル音声出力]の設定により、音が出ないことがあります。 • [96kHz PCM出力]の設定が[96kHz]になっていませんか？リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているディスクがあります。 • 接続したAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？	112-113 112-113 97-98 98
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて[テレビ画面]の設定をしてください。 • 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは**[S映像出力]**の設定を**[S1]**にしてください。	99 100
DVDとCDで音量差を感じる。	• ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	11

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD/CD 関係		
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	• ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	• ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
放送関係		
放送が聞こえない、聞き苦しい。	• アンテナが接続されていません。アンテナを正しく接続してください。 • アンテナの向き、位置が悪くなっています。アンテナの向きや位置を調整してください。 • 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	10-13 13
放送がステレオなのにステレオにならない。	• 表示部の **MONO** インジケーターが点灯していませんか？ FM 放送の受信設定を **AUTO** にして、**MONO** インジケーターを消灯してください。	41
MD 関係		
録音ができない。	• MD が誤消去防止状態になっています。誤消去防止ツマミを閉じてください。 • 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしていませんか。新しい録音用 MD と交換してください。 • DISC FULLになっています。不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD と交換してください。	120 123
モノラルで録音されてしまう。	• モノラル長時間モードになっています。長時間録音モードを通常のステレオ録音にしてください。	38
MDを入れても“ NO DISC ”や“ ERROR ”が表示される。	• ディスクにキズが付いています。新しい MD に交換してください。	
再生音がとぎれる。	• 振動の多い不安定な場所で使用していませんか？平らな安定した場所に移し変えてください。 • 結露現象が起きています。１時間ほど放置してから使用してください。	133 133
録音したときに音が歪む。	• LINE入力信号が大きすぎます。入力アッテネーターを“ ATT ON ”にしてください。 • 録音レベルが大きすぎます。デジタル録音レベルを小さくしてください。	115 68

症状	原因 / 対策	参照ページ
	MD 関係	
録音したときに音が小さい。	• 録音レベルが小さすぎます。デジタル録音レベルを大きくしてください。 • 入力アッテネーターが“ ATT ON ”になっています。入力アッテネーターを“ ATT OFF ”にしてください。	68 115
グループ機能が使えない。	• グループディスクと認識されていません。または、グループ機能がない機器でディスク名を変更しています。ディスク名を消去してグループを登録しなおしてください。	81
本機でMDLP録音したMDが他の機器で再生できない。	• 再生しようとしていた機器が、MDLP対応ではありません。MDLPで録音したMDは、MDLP対応機器にて再生してください。	
2つの曲をつなぐ(コンバイン)ができない。	• デジタルとアナログで録音された曲をつなごうとしています。デジタル（アナログ）で録音された曲はデジタル（アナログ）録音された曲同士つないでください。 • MDLPにて、違う録音モードで録音した曲同士をつなごうとしています。MDLPの同じ録音モードで録音した曲同士つないでください。	38
	その他	
タイマーが作動しない。	• 現在時刻の設定がされていません。現在時刻を設定してください。	22
リモコンがきかない。	• リモコンの電池がなくなっています。新しい電池にかえてください。 • 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。 • 蛍光灯がリモコン受光部の近くにあります。蛍光灯をリモコン受光部から離してください。	3 3 15
LINEに接続した機器からの音が歪む。	• 接続した機器からの出力レベルが大きくなっています。入力アッテネーターを“ ATT ON ”にしてください。	115
タイマーインジケーターが点滅する。	• ただちに電源プラグを抜き、お近くのサービスステーションに連絡してください。	

• 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

ＭＤでこんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、お近くのパイオニアサービスステーション、またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	意味	このようにしてください
BLANK DISC	音楽が何も記録されていない。	再生する時は、録音されたＭＤと取りかえる。
Can' t REC	ショックやディスクの傷で正しく録音できなかった。 CD-R など録音禁止処理されているCDをＭＤに録音しようとした。	録音をやり直すか、ＭＤを交換してください。 録音禁止処理されていないCD に取りかえてください。
Can' t EDIT	編集できない。	もう一度、操作した項目の注意文やメモなどを見直してください。
NO DISC	ＭＤが入っていない。 ＭＤのデーターが読めない。	ＭＤを入れてください。 ＭＤをもう一度入れ直してください。
DISC FULL	ＭＤに録音できる空きがない。	他の録音用ＭＤと取りかえてください。
NAME FULL	ディスク、曲名、グループ名の合計が１７００文字を超えている。 ディスク、曲名または、グループ名が１００文字を超えている。	ディスク名／曲名／グループ名を短くする。 ディスク名／曲名／グループ名を短くする。
PREMASTERD	再生専用ＭＤに録音や編集をしようとした。	録音用ＭＤと取りかえる。
PROTECTED	ＭＤが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止状態をもとに戻す。
DISC ERROR TOC READ ERR	ディスクにキズがついている。 記憶されているＴＯＣ情報がＭＤの規格に合ってなかったり読めない。	ＭＤをもう一度入れ直してください。 他のＭＤと取りかえる。または、オールイレースをしてから録音をやり直してください。
MECHA ERROR	ＭＤが正しく働いていない。	電源を切ってから再度電源を入れる。

DVD の初期設定一覧

音場設定

音場設定

項目	設定	参照
オーディオDRC	■ オフ ミディアム マックス	P.89
バーチャルサラウンド	■ オフ DDV/TruSurround	P.88

初期設定

初期設定（デジタル音声出力／映像出力／言 語／表 示／オプション）

デジタル音声出力

項目	設定	参照
DDDigital出力	■ DDDigital DDDigital > PCM	P.97
DTS出力	DTS ■オフ	P.98
96 kHz PCM出力	■96kHz > 48kHz 96kHz	P.98
MPEG出力	MPEG ■MPEG > PCM	P.98

映像出力

項目	設定	参照
テレビ画面	■4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) 16:9(ワイド)	P.99
S映像出力	S1 ■ S2	P.100

言 語

項目	設定	参照
音声言語	■日本語 英語 その他の言語	P.101
字幕言語	■日本語 英語 その他の言語	P.102
DVDメニュー言語	■字幕言語に連動 日本語 英語 その他の言語	P.102
字幕表示	■オン オフ	P.103

表 示

項目	設定	参照
画面表示言語	■日本語 English	P.104
画面表示	■オン オフ	P.105
アングルマーク表示	■オン オフ	P.105

オプション

項目	設定	参照
視聴制限	暗証番号 レベル変更 国コード	P.106

視聴制限のお買い上げ時の設定は、暗証番号未設定、レベル変更オフ、国コードは日本の設定となっています。

設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

1. 電源をオフにして、スタンバイ状態にします

電源が入っているときは、⏻**電源ボタン**を押します。
あらかじめディスクはとり出しておきます。

2. ■ボタンを押しながら、本体の⏻電源ボタンを押します

設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべてのメモリーが同時に消去されます。初期化する前は十分にご注意ください。

メ モ

▼ 初期化すると、20ページの画面が最初に表示されます。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

日ごろのお手入れと取り扱いの注意

使用上の注意

本機を移動する場合
本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに⏻**電源ボタン**を押し、表示窓の[**See you!**]表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

本機を使わないときは電源を切る
テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。



結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には１時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

設置上の注意

- 組み合わせて使用するテレビのそばの安定した場所を選んでください。また、次のような場所には設置しないでください
  ・湿気の多い所や風通しの悪い所・極端に暑い所や寒い所 ・振動のある所・ほこりの多い所・ 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。キャビネットが変形したり、変色したりして故障の原因となります。
- 本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。
- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、１５～３０分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーシステムをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

通気孔をふさがない

通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。通気孔はふさがないでください。風通しの悪い所に入れたり、毛足の長い敷物やベッド、ソファの上などへ置いたりしないでください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は137ページからの「修理窓口・ご相談窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

120～130ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD/MDミニコンポーネントシステム
- 型番：X-SV5DV-S、X-SV5DV-K
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

仕様

アンプ部

実用最大出力（EIAJ 4 Ω）........ 25W + 25W

FM チューナー部

受信周波数 .... 76.0 ～ 108 MHz
アンテナ .... 75 Ω不平衡型

AM チューナー部

受信周波数
522 kHz～1,629 kHz（9 kHzステップ）
530 kHz～1,700 kHz（10 kHzステップ）
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

DVD プレイヤー部

周波数特性 .... 4 Hz ～ 44 kHz
（DVD、96 kHz）
サンプリング周波数特性 .... 4 Hz ～ 22 kHz
（48 kHzサンプリング）

映像出力：
出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
出力端子 .... RCA 端子

S 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p(75 Ω)
C 出力レベル .... 286 mVp-p(75 Ω)
出力端子 .... S 端子

ミニディスク部

記録方式 .... 磁界変調オーバーライト式
再生方式 .... 非接触光学式
サンプリング周波数 .... 44.1 kHz

電源部・その他

電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力（電気用品安全法）..................... 83W
待機時消費電力 .... 0.37 W
外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）
.... 162 × 220 × 339.5 mm
本体質量 .... 6.3 kg

スピーカー部 (S-SV5-S/ S-SV5-K)

型式 .... バスレフ式ブックシェルフ型、
防磁設計(EIAJ)
使用スピーカー（2 ウェイ方式）
低音用(ウーファー) .... 10 cm (コーン型)
高音用(トゥイーター) ..... 20 mm (ドーム型)
公称インピーダンス .... 4 Ω
再生周波数帯域 .... 55 ～ 20,000 Hz
最大入力 .... 25 W（EIAJ）
外形寸法 .... 130 × 220 × 242 mm
（幅）×（高さ）×（奥行）
本体質量 .... 2.0 kg

付属品

保証書 1
取扱説明書 1
安全上のご注意 1
FM 簡易アンテナ 1
AM ループアンテナ 1
リモートコントロールユニット（リモコン）..... 1
単 3 形乾電池（R6P）...................................... 2
電源コード 1
ビデオコード 1

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機では、画面表示にＮＥＣのフォント「Font Avenue」を使用しています。
Font Avenue はNEC の登録商標です。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：
社団法人 私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿３丁目２０番２号
東京オペラシティタワー１１F
電話（０３）５３５３－０３３６
FAX．（０３）５３５３－０３３７

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。
こんな症状はありませんか？
- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店またはお近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



応用編
その他

修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご購入後の製品の修理・お取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーフォンは、ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口　：**0070-800-8181-22**

カタログのご請求窓口　：**0077-800-8181-33**

ファックス　：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内

お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*

カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81095**

一般電話　：**0538-43-1161**

ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障？ちょっと調べてください」または「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、 土曜　9：30～12：00、13：00～17：00　（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、ＰＨＳではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）

一般電話　：**03-5496-2023**

ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00　（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話　：**098-879-1910**

ファックス　：**098-879-1352**

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、修理受付センターでお受けします。
(沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします)

●北海道地区

受付　月～金　9：30～18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

名称	FAX	〒	住所
札幌サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北２条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町１条１丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西５条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9：30～18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

名称	FAX	〒	住所
仙台サービスステーション	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田20
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX 019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1
郡山サービスステーション	FAX 024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第２ビル

●関東・甲信越地区

受付　月～土　9：30～18：00　(日・祝・弊社休日は除く)

名称	FAX/TEL	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX 03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9　中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX 03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-14
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川１Ｆ
高崎サービスステーション	FAX 027-322-8978	〒370-0851	高崎市上中居町45-2
足利サービス認定店	FAX 0284-42-4376	〒326-0058	足利市元学町831
新潟サービスステーション	FAX 025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種1158-1
千葉サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部1369-1　椎の実ハイツ1F
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
埼玉サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒330-0038	さいたま市宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
神奈川サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX 045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
厚木サービス認定店	FAX 046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田339-1　金田コーポフロンテア201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX 026-326-3122	〒390-0842	松本市征矢野2-8-7
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9：30～18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

名称	FAX	〒	住所
名古屋サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX 054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX 0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町1-14-26

●中部地区			受付 月～金 9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒435-0042 浜松市篠ヶ瀬町415 ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX	076-291-6425	〒921-8005 金沢市間明町1-130
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211 富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001 福井市大願寺3-5-9

●関西地区			受付 月～金 9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
大阪サービスセンター	FAX	06-6353-1145	〒530-0035 大阪市北区同心2-1-26
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322 堺市津久野町1-8-15 ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX	06-6453-5666	〒531-0076 大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132 奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021 和歌山市和歌浦東3-1-25
京滋サービスステーション	FAX	075-682-7176	〒601-8448 京都市南区西九条豊田町24-1
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055 福知山市篠尾新町2-74 カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX	078-251-7173	〒651-0086 神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0251 姫路市花田町上原田30-4

●中国地区			受付 月～金 9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
広島サービスステーション	FAX	082-227-4866	〒730-0013 広島市中区八丁堀2-31 鴻池ビル
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006 徳山市花畠町3-11 森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815 福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX	086-276-1927	〒703-8282 岡山市平井3-1078-6
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017 松江市西津田4-5-40 （有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061 鳥取市立川町5-240-1

●四国地区			受付 月～金 9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0014 高松市昭和町1-3-33 大商ビル
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023 徳島市勝占町中須92-1 大松ジョリカB 103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051 高知市愛宕町3-12-13 晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-951-6270	〒791-8067 松山市古三津5-10-35 商船ビル1F

●九州地区			受付 月～金 9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
福岡サービスステーション	FAX	092-412-7460	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-3
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006 福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145 長崎市昭和1丁目12-10 クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918 熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-549-2420	〒870-0889 大分市大石町5丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX	093-951-1748	〒802-0011 北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX	099-224-7692	〒892-0841 鹿児島市照国町3-21 第二大見ビル2F
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821 宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区			受付 月～金 9：30～18：00（土・日・祝・弊社休日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2122 浦添市勢理客4-18-1 トヨタマイカーセンター3F
	FAX	098-879-1352	

平成14年4月現在　　修理窓口・ご相談窓口の名称・所在地・電話番号は変更することがございますのでご了承ください。

高調波ガイドライン適合品

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<TSWZF/02C00000>　<ARA7147-B>